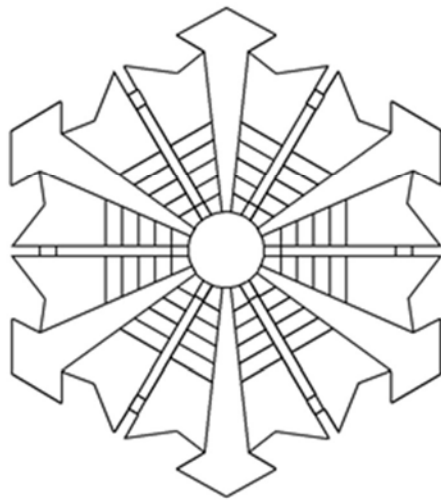


令和 6 年版

消防年報



大 館 市 消 防 本 部

(令和 7 年刊行)

は し が き

この年報は、令和6年中における大館市管内の消防業務に関する事項を収録し、今後の消防行政の合理的な運用と、消防の充実強化の参考資料として、消防関係者はもとより一般の方々に広くご活用して頂けるよう編集したものです。

「安全で快適なまちづくり」に向けて、総力を傾注してまいりますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。



令和7年10月

大館市消防本部

目 次

総 務

大館市の特性	1
消防のあゆみ	2
令和 6 年度の主な行事	10
組織図	11
管内図	12
消防庁舎の現況	13
歴代消防長・消防署長	14
消防本部の事務分掌	15
消防署の事務分掌	16
消防職員階級別実数調	17
消防職員配置状況	17
消防職員階級別勤続年数	18
消防職員階級別年齢構成	18
令和 7 年度消防費予算分類表	19
消防力の整備指針と現有勢力	21
消防署・所の基準	21
消防職員の技能資格取得状況	22
応援協定・業務協定	23

予 防

特殊防火対象物の現況	24
建築同意及び通知の状況	25
中・高層建築物現況（4 階以上）	26
危険物施設の状況	27
危険物施設の許認可状況	28
防火管理者選任届状況	29
各種届出事務処理状況	30
予防広報活動状況	31

統 計

火災発生状況比較	32
月別・年別火災発生状況	33
火災による死傷者状況	34
出火原因別火災発生状況	35
建物の用途別火災発生状況	36
救急出動状況	37
地域別救急出動状況	38
救急事故種別出動状況	39
月別救急出動状況	40
曜日別救急出動状況	41
時間帯別救急出動状況	42
救急隊員の行った応急処置件数	43
傷病程度別搬送人員の状況	44
医療機関別救急搬送状況	45
救助出動状況	46
救助活動状況	46
天気・平均気温・平均風速・降雨量・降雪量（過去 10 年間）	47
初雪・最高・最低気温（過去 10 年間）	47
月別最高・最低気温	47
月別最大風速・平均風速	47
月別降雨量・降雪量	47

警 防

消防水利の状況	48
消防車両等の配置状況	49
消防車両等保有台数状況	50
小型動力ポンプ保有台数状況	50
消防車両等使用経過年数状況	50
小型動力ポンプ使用経過年数状況	50
特殊器具現有状況	51

消防緊急通信指令施設の概要	52
消防緊急通信指令施設構成図	53
デジタル無線設備状況	54
署活無線設備状況	55
防爆無線設備状況	55
消防団無線設備状況	55

管内消防団

大館市消防団の組織	56
管内歴代消防団長	57
大館市消防団員の年齢構成	58
大館市消防団員の在職年数	58
大館市消防団消防ポンプ自動車等配置状況	59

大館市の特性

(1) 地形・地勢

大館市は、秋田県の北東部、米代川中流域の大館盆地を中心に、北緯 40 度 16 分東経 140 度 34 分に位置し、東西約 35 キロメートル南北約 49 キロメートルで、その面積は 913.22 平方キロメートルである。

北東は、鹿角郡小坂町、東に鹿角市、北西は山本郡藤里町、南西は北秋田市にそれぞれ接し、地勢は、ほとんどが山地・丘陵で、北側に標高 1,178 メートルの田代岳を有し、青森県と接している。盆地内は、米代川、早口川、岩瀬川、長木川、下内川、犀川その他小河川が流れ、広く平地を形成している。

(2) 気候

季節によってははっきりした気温の変化が見られ、年較差は比較的大きい。夏の日中は、短期間ながら高温となり夜はむし暑く、冬は北西の季節風が吹いて寒さが厳しいのが特徴である。

冬には季節風の影響で、かなりの降雪・積雪となり、地形によって平野部と山間部の違いがはっきりしている。

風向は季節変化が少なくほぼ一定している。

(3) 人口・世帯数

住民基本台帳上の人口は 64,824 人、世帯数は 31,028 世帯となっている。

(令和 7 年 3 月末現在)

(4) 道路の位置等

道路は、秋田・青森を結ぶ国道 7 号、東北自動車道十和田 IC へ通ずる国道 103 号、秋田市までの最短距離となる国道 285 号を主要幹線とし、周辺を県道、市道が連結し、交通網を形成している。

高速交通体系では、秋田自動車道 (大館北 IC ~ 小坂 JCT) が平成 25 年 11 月 30 日に開通し、東北道と直結された。

(5) 鉄道の位置等

鉄道は、北は青森方面、西は能代・秋田方面に延びる JR 奥羽本線と、東へは十和田南、鹿角花輪を経て盛岡へ延びる JR 花輪線がある。

消 防 の あ ゆ み

明治 13 年 6 月	大館に火防組結成
明治 20 年 1 月	町役消防組を設置、大組と称して組員 37 名をもって組織し竜吐水を設置 初代組頭 村上茂真
明治 27 年 2 月	勅令第 15 号により消防組規則発令、消防組規則施行とともに町役消防組解散、あらたに公設大館消防組を設置、同時に乙号腕用ポンプを設置
明治 35 年 8 月	消防組の組織を図り第 2 部増設、総組員 65 名 新規に乙号腕用ポンプを購入設置
明治 44 年 8 月	大館駅付近の発展、人家密集、火災予防上危険のため駅前有志により第 3 部を増設 総組員 112 名
大正 10 年 4 月	手挽動力ポンプを購入、第 3 部に配置
大正 11 年 6 月	手挽動力ポンプを購入、第 1 部に配置、自動車班、腕用班との 2 班に編成 総組員 162 名
昭和 2 年 10 月	消防ポンプ自動車を購入、第 3 部に設置
昭和 7 年 10 月	常設消防部を田町に開設、新たに消防ポンプ自動車を購入、常備消防部 6 名を配置
昭和 14 年 4 月	警防団令公布施行により消防組を改組し警防団を結成、4ヶ分団 900 名を擁し、消防部、警防部、防毒部の 3 部制組織となる。初代団長 平泉喜八
昭和 22 年 5 月	警防団廃止、消防団を結成 総団員 676 名。初代団長 山田健治
昭和 23 年 3 月	消防組織法施行により消防本部ならびに消防署を設置 初代消防長兼署長 小林定義 総員 26 名
昭和 26 年 4 月	隣接の釈迦内村を合併、市制施行、6ヶ分団に編成
昭和 27 年 9 月	時代の進展に伴い水槽付ポンプ自動車を購入
昭和 29 年 12 月	市庁舎北側に消防本部、消防署を新築
昭和 30 年 3 月	近隣 1 町 5 村合併、19 分団に編成 総員 491 名
昭和 30 年 9 月	中波無線機を購入、さらに 12 月大型水槽付ポンプ自動車を購入 署員 42 名
昭和 33 年 9 月	御成町一丁目地内に北分遣所を設置
昭和 35 年 4 月	十二所地内に機関員派出所を開設、各集落にも小型動力ポンプを配置 本市では町内 140 組の火災予防組合を結成
昭和 35 年 6 月	小林消防長退任に伴い、後任に市助役 竹内福哉(兼務)が消防長に就任
昭和 39 年 3 月	根本自朗が専任消防長に就任
昭和 40 年 10 月	伝染病予防組合より救急自動車を移管され救急業務を開始
昭和 42 年 12 月	隣町花矢町と合併、26ヶ分団に編成 総員 652 名 花岡町本郷地内に機関員派出所を開設
昭和 43 年 3 月	昭和 40 年度から年次計画に基づき、市内に火災報知機(129 基)を設置
昭和 44 年 3 月	超短波無線機移動局 2 基、携帯用 4 基を購入
昭和 44 年 4 月	秋田県内で初の消防団員定年制を実施 根本消防長が人事異動により転出、後任に市助役 竹内福哉(兼務)が就任
昭和 44 年 5 月	43 年 10 月御成町二丁目大火により、大型水槽付ポンプ自動車 1 台購入配置
昭和 46 年 4 月	釈迦内地内に北分遣所を新築移転 消防車 2 台を配置
昭和 46 年 8 月	消防署に救急自動車を配置
昭和 47 年 7 月	大館市・比内町・田代町、の 1 市 2 町は、大館周辺広域市町村圏組合の設立 について秋田県知事から許可
昭和 48 年 3 月	屈折梯子付消防ポンプ自動車を配置

昭和 48 年 4 月	大館周辺広域市町村圏組合に消防本部・消防署を設置し消防業務を開始 組合管理者 大館市長 石 川 芳 男（消防長事務取扱として就任） 副管理者 比内町長 千 葉 久右衛門 副管理者 田代町長 木 村 馨 消防本部 1・消防署 1・分署 3・出張所 2（実員 65 名）
昭和 48 年 6 月	成田誠一氏が、専任消防長に就任
昭和 48 年 7 月	増員計画に伴い、職員 13 名増員（実員 78 名）
昭和 48 年 10 月	増員計画に伴い、職員 12 名増員（実員 90 名）
昭和 48 年 12 月	消防本部（署）並びに比内分署、田代分署庁舎を新築竣工 消防ポンプ自動車（日産・A - 級）2 台購入、比内分署、田代分署へ各 1 台を配置
昭和 49 年 1 月	電話の普及に伴い、大館市内に設置の火災報知機（129 基）全面廃止
昭和 49 年 2 月	指令車（三菱）1 台購入、消防本部へ配置
昭和 49 年 4 月	増員計画に伴い、職員 6 名増員（実員 96 名）
昭和 49 年 5 月	（社）日本損害保険協会から救急自動車（トヨタ・2B 型）1 台寄贈され本署に配置
昭和 49 年 12 月	消防ポンプ自動車（日産・A - 級）1 台購入、本署へ配置
昭和 50 年 2 月	比内分署・田代分署に消防専用超短波無線基地局を設置し、移動局 7 台を消防車両に装備
昭和 50 年 6 月	増員計画に伴い、職員 3 名増員（実員 99 名）
昭和 50 年 7 月	日本自転車振興会から広報車（三菱）1 台 寄贈され本署へ配置
昭和 50 年 8 月	8 月 20 日県北地区に集中豪雨があり、比内町大葛地内に大被害が発生し、災害救助法が適用された。
昭和 50 年 10 月	化学消防ポンプ自動車（いすゞ・A - 級）1 台を購入、本署へ配置
昭和 51 年 6 月	広報車（日産）1 台購入、本署へ配置
昭和 51 年 8 月	消防本部機構改革により課制を制定、総務課・予防課・警防課を設置
昭和 51 年 9 月	救急自動車（トヨタ・2B 型）1 台購入、本署へ更新配置
昭和 51 年 10 月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・A - 級 2,000 ㍓）1 台購入、田代分署へ配置
昭和 51 年 12 月	田代分署に広報車格納車庫を新築
昭和 52 年 6 月	職員定数条例の一部改正により、職員 3 名増員（実員 102 名）
昭和 52 年 10 月	（社）日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・A - 級 1,600 ㍓）1 台寄贈され本署へ配置
昭和 52 年 11 月	水槽付消防ポンプ自動車（日野・A - 級 2,000 ㍓）1 台購入、比内分署へ配置
昭和 53 年 5 月	職員定数条例の一部改正により、職員 3 名増員（実員 105 名）
昭和 53 年 12 月	広報車（日産）1 台購入、本署へ配置
昭和 54 年 2 月	消防救急指令装置 C 型を本署へ配置
昭和 54 年 7 月	成田誠一消防長退任に伴い、後任に秋元五郎消防署長が消防長に就任
昭和 54 年 11 月	秋田県共済農業協同組合連合会から、救急自動車（トヨタ・2B 型）1 台寄贈され本署へ配置 本署に救急自動車・広報車の車庫を新築
昭和 55 年 11 月	小型動力ポンプ付水槽車 型（いすゞ・水槽容量 10,000 ㍓）1 台購入し本署に配置
昭和 56 年 12 月	東台地内に消防署東分署を新築、消防業務を開始 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・A - 級 2,500 ㍓）1 台購入配置
昭和 57 年 8 月	広報車（日産・緊急車仕様）1 台購入、本署へ更新配置
昭和 57 年 9 月	日本消防協会から救急自動車（日産・2B 型）1 台寄贈され、本署に更新配置

	さらに救急自動車（日産・２Ｂ型）１台購入、本署へ更新配置
昭和 59 年 9 月	指令車（日産・緊急車仕様）１台購入、本署へ更新配置
昭和 60 年 2 月	梯子付消防ポンプ自動車（いすゞ・Ａ - 級・41m 級）１台購入し本署へ配置
昭和 60 年 8 月	広報車（トヨタ・緊急車仕様）２台購入、比内分署、田代分署へ更新配置
昭和 60 年 10 月	日本消防協会から消防専用超短波無線携帯局（1W）１０台寄贈
昭和 60 年 11 月	消防ポンプ自動車（いすゞ・Ａ - 級）１台購入、本署へ更新配置
昭和 61 年 9 月	日本消防協会から広報車（日産・緊急車仕様）１台寄贈され、本署に配置
昭和 61 年 12 月	消防ポンプ自動車（三菱・Ａ - 級四輪駆動）１台購入、比内分署へ更新配置
昭和 62 年 12 月	消防ポンプ自動車（三菱・Ａ - 級四輪駆動）１台購入、田代分署へ更新配置
昭和 63 年 10 月	水槽付消防ポンプ自動車（日産・Ａ - 級 2,500 ㍓）１台購入 北分署へ更新配置
平成元年 4 月	秋元五郎消防長退職に伴い、後任に近藤忠消防署長が消防長（署長兼務）に就任
平成 2 年 5 月	本署配置の屈折梯子付消防ポンプ自動車老朽のため廃棄処分
平成 3 年 4 月	近藤忠消防長退職に伴い、後任に成田喜三郎消防次長が消防長に就任
平成 3 年 5 月	（社）日本自動車工業会から救急自動車（トヨタ・２Ｂ型四輪駆動）１台寄贈され本署へ更新配置
平成 3 年 12 月	成田喜三郎消防長退職に伴い、後任に佐々木藤清消防署長が消防長に就任
平成 4 年 1 月	救急自動車（トヨタ・２Ｂ型四輪駆動）１台購入、本署へ更新配置
平成 4 年 3 月	消防緊急通信指令施設 型を本署へ配置
平成 4 年 10 月	（社）日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車（いすゞ・Ａ - 級）１台寄贈され、本署に更新配置
平成 5 年 2 月	救助工作車（日野 型）１台購入、本署に新規配置
平成 5 年 3 月	秋田県共済農業協同組合連合会から、救急自動車（いすゞ・２Ｂ型四輪駆動）１台寄贈され、『ＪＡ救急１号車』と命名し本署へ配置
平成 5 年 4 月	佐々木藤清消防長退職に伴い、後任に鳴海正富消防次長が消防長に就任
	職員定数条例の一部改正により、職員８名増員（実員１１３名）
平成 5 年 8 月	日本防火協会から防火広報車（いすゞファーク）１台寄贈され本署へ配置
平成 6 年 4 月	鳴海正富消防長退職に伴い、後任に松川 擴消防次長が消防長に就任
	職員定数条例の一部改正により、職員６名増員（実員１１９名）
平成 7 年 4 月	松川 擴消防長退職に伴い、後任に原 亮司消防次長が消防長に就任
	職員定数条例の一部改正により、職員４名増員（実員１２３名）
平成 7 年 10 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣
平成 7 年 11 月	水槽付消防ポンプ自動車（日野・Ａ - 級 2,000 ㍓）１台購入、田代分署へ更新配置
平成 7 年 12 月	消防用広報車（日産・緊急車仕様）１台購入、本署へ更新配置
	消防用広報車（日産・緊急車仕様）１台購入、比内分署へ更新配置
平成 8 年 1 月	秋田県緊急消防援助隊「消火部隊」として登録、結団
平成 8 年 8 月	緊急通信指令施設 型に無線統制台を導入、全国波（150.73MHz）を実装
平成 8 年 10 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣
平成 8 年 11 月	消防用連絡車（日産・４WD）１台購入、本署へ更新配置
	消防用広報車（日産・緊急車仕様 4WD）１台購入、田代分署へ更新配置
平成 9 年 3 月	水槽付消防ポンプ自動車（日野・Ａ - 級 2,000 ㍓）１台購入、比内分署へ更新配置
平成 9 年 4 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣
平成 9 年 10 月	消防用広報車（日産・緊急車仕様）１台購入、本署へ更新配置
平成 9 年 12 月	指令車（日産・緊急車仕様）１台購入、本署へ更新配置
平成 10 年 3 月	（社）日本損害保険協会から高規格救急自動車（トヨタ・ハイメック）１台寄

	贈され、本署へ新規配置
平成 10 年 4 月	原 亮司消防長退職に伴い、後任に成田正市消防次長が消防長に就任
平成 11 年 2 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 小型動力ポンプ付水槽車（日野・水槽容量 10,000ℓ）1 台購入、本署へ更新配置
平成 11 年 4 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 秋田県消防防災航空隊へ職員を 1 名派遣
平成 12 年 3 月	本署に救急棟増設
平成 12 年 4 月	成田正市消防長退職に伴い、後任に奥村秀夫消防次長が消防長に就任 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所へ、 1 名を東京消防庁救急救命士養成課程に派遣
平成 13 年 2 月	高規格救急自動車（ニッサン・パラメディック）1 台購入、本署へ配置
平成 13 年 4 月	奥村秀夫消防長退職に伴い、後任に木村博消防次長が消防長に就任 秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣 人事交流を実施し、大館市役所から齋藤誠総務課主幹が消防次長に就任、 消防本部山下幸一補佐を大館市企画調整課へ派遣
平成 13 年 10 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所へ、 1 名を東京消防庁救急救命士養成課程に派遣
平成 13 年 11 月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・A - 級 2,500ℓ）1 台購入、 東分署へ更新配置
平成 13 年 12 月	本署に乾燥塔新設（17m級）
平成 14 年 4 月	木村博消防長退職に伴い、後任に鳴海義衛消防署長が消防長に就任 秋田県緊急消防援助隊「特殊装備隊（はしご自動車）」として追加登録
平成 14 年 9 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を東京消防庁救急救命士 養成課程に派遣
平成 14 年 10 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 15 年 2 月	災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（日産四輪操舵・30m級）1 台購入、 本署へ配置
平成 15 年 2 月	災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車本署配置に伴い、昭和 60 年購入の 梯子付消防ポンプ自動車（いすゞ・A - 級・41m級）を廃棄処分
平成 15 年 4 月	人事交流により大館市役所から消防次長で派遣中の大館市役所 齋藤 誠 総務 課主幹が大館市合併推進室長に異動 大館市企画振興課課長補佐へ派遣中の消防 本部 山下幸一補佐が消防本部総務課長に異動 機構改革により警防課に救助係を新設
平成 15 年 4 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 15 年 10 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 16 年 4 月	機構改革により警防課消防係、機械係を統廃合し警防係を新設 警防課に通信指令係を新設、庶務係を総務係に呼称変更 秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣
平成 17 年 4 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 秋田県緊急消防援助隊「後方支援隊」として追加登録
平成 17 年 6 月	大館市・比内町・田代町の 1 市 2 町が合併し、大館周辺広域市町村圏組合が解散 大館市消防本部となる 職員 3 名増員（実員 126 名）
平成 18 年 3 月	十二所出張所、花矢出張所を廃止
平成 18 年 4 月	比内分署に救急自動車（2B 型）を配置 救急業務を開始

	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 秋田県緊急消防援助隊「救急隊（高規格救急車）」として追加登録
平成 19 年 2 月	災害対応特殊救急自動車（トヨタ・ハイメディック）1 台購入、比内分署へ配置
平成 19 年 3 月	田代分署に救急自動車（2 B 型）を配置 救急業務を開始
平成 19 年 4 月	鳴海義衛消防長退職に伴い、後任に椿谷賢治消防次長が消防長に就任 秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 職員定数条例の一部改正により、職員 3 名増員（実員 129 名）
平成 19 年 9 月	H19 豪雨により、米代川流域に甚大な被害が出る
平成 20 年 3 月	（社）日本損害保険協会から寄贈された高規格救急自動車（トヨタ・ハイメディック）1 台を田代分署へ配置
平成 20 年 4 月	椿谷賢治消防長退職に伴い、後任に菅原博昭消防副署長が消防長に就任 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 機構改革により東分署と北分署を統合（東分署廃止）し、北分署に消防ポンプ自動車及び高規格救急車を配置 救急業務を開始 比内分署を大館市役所比内総合支所へ移転 職員 4 名減員（実員 125 名）
平成 20 年 6 月	天皇皇后両陛下が、第 59 回全国植樹祭に出席するため行幸啓。中央公民館で行幸啓特別防災警備を実施 岩手・宮城内陸地震のため、秋田県緊急消防援助隊（消火隊・救急隊・後方支援隊の 3 隊 11 名）が、岩手県奥州市及び宮城県栗原市へ出動
平成 20 年 7 月	岩手県北部を震源とする地震のため、秋田県緊急消防援助隊（消火隊・後方支援隊の 2 隊 9 名）が、岩手県盛岡市へ出動
平成 20 年 8 月	（財）日本宝くじ協会から寄贈された消火通報訓練指導車（マツダ・タイタン）1 台を本署へ配置
平成 20 年 9 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 21 年 4 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 人事評価制度を開始
平成 21 年 9 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 21 年 10 月	消防用広報車（トヨタ・緊急車仕様）1 台購入、本署へ更新配置
平成 22 年 1 月	災害対応特殊救急自動車（トヨタ・ハイメディック）1 台、災害対応特殊消防ポンプ自動車（日野デュトロ）1 台購入、北分署へ配置
平成 22 年 4 月	菅原博昭消防長退職に伴い後任に石井直文消防次長兼消防署長が消防長に就任 秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣 総務省から消防団救助資機材搭載型車（いすゞ・エルフ）1 台が無償貸付された 職員 1 名増員（実員 126 名）
平成 22 年 11 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団比内第 2 分団（独鈷）の消防車庫を新築し、消防団救助資機材搭載型車両（いすゞ・エルフ）を配置
平成 23 年 3 月	東日本大震災のため、秋田県緊急消防援助隊（救急隊、後方支援隊、消火隊）が岩手県宮古市へ出動 消防ポンプ自動車（日野・C A F S 搭載）1 台購入、比内分署へ配置
平成 23 年 4 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣 東日本大震災のため、秋田県緊急消防援助隊（救急隊、後方支援隊）が宮城県登米市へ出動 職員 2 名減員（実員 124 名）
平成 23 年 9 月	消防広報車（トヨタ・緊急車仕様）1 台購入、本署へ更新配置

平成 23 年 11 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団比内第 4 分団（水無）の消防車庫を新築比内第 1 分団消防ポンプ自動車を比内第 4 分団に配置換え
平成 24 年 4 月	石井直文消防長退職に伴い、後任に畠山亮一消防署長が消防長に就任 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 2 名を救急救命東京研修所に派遣 職員 3 名減員（実員 121 名）
平成 24 年 11 月	全国共済農業協同組合連合会秋田県本部から寄贈された高規格救急自動車（トヨタ・ハイメディック）1 台を本署へ配置 消防団機動分団化に伴い大館市消防団大館第 7 分団（天下町）に消防車庫及び小型動力ポンプ積載車（軽自動車）を配置
平成 25 年 4 月	畠山亮一消防長退職に伴い、後任に渡部明消防次長兼消防署長が消防長に就任 秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 2 名を救急救命東京研修所に派遣 職員 1 名減員（実員 120 名） 大館市消防団に機能別消防団（19 名）発足
平成 25 年 8・9 月	これまで経験したことのない雨量を記録した「8 月 9 日豪雨災害」に加え、9 月 16 日には「台風 18 号災害」に見舞われた。いずれの災害も激甚災害に指定されるとともに、8・9 豪雨災害は災害救助法が適用された
平成 25 年 10 月	比内・田代地域消防団に纏を配備
平成 25 年 11 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団大館第 12 分団（餌釣）に消防車庫新築、小型動力ポンプ積載車（軽自動車）及び小型動力ポンプを配置 秋田自動車道開通に伴い鹿角広域行政組合と消防相互応援協定を締結
平成 26 年 3 月	大館警察署・大館市建設業協会と「災害時における支援に関する協定」を締結
平成 26 年 3 月	秋田県公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業により、本署に太陽光発電システムを導入
平成 26 年 4 月	渡部明消防長退職に伴い、後任に佐藤久仁消防次長兼消防総務課長が消防長に就任 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 2 名を救急救命東京研修所に派遣 消防救急デジタル無線が整備され試験運用を開始（アナログ無線併用）
平成 26 年 10 月	消防 OB 会結成 30 周年記念事業により、マスコットキャラクターの着ぐるみ「ハッチ君」が寄贈された
平成 27 年 3 月	高機能消防指令センターが竣工し、新指令装置（離島型）を配備
平成 27 年 4 月	機構改革により消防本部警防課に通信指令室通信指令係を新設、消防総務課の会計係を総務係に統合、消防署の警防係と救助係を統合、警防救助係とし、予防係を予防調査係に名称変更 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 2 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 27 年 5 月	消防署連絡車（トヨタ・プリウス）1 台購入、本署へ更新配置
平成 27 年 12 月	タイヤローダー（TCM・平成 5 年式）が土木課から移管され、本署へ配置
平成 28 年 3 月	大館市消防団大館第 2 分団に消防ポンプ自動車（日野・CD- 型）を更新配置
平成 28 年 4 月	秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣 救急救命士の国家資格を取得するため、職員 2 名を救急救命東京研修所に派遣 職員 3 名増員（実員 123 名 市総務部危機管理課出向 1 名、再任用 1 名含む） 東光鉄工株式会社から、防災対策及び災害時支援等を目的とした小型無人機ドローンが寄贈された
平成 28 年 9 月	女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業により、マスコットキャラクターの着ぐるみ「ハチコちゃん」を製作
平成 28 年 10 月	消防団連絡車（トヨタ小型トラック・緊急車仕様）1 台購入、団本部へ更新配置

平成 28 年 12 月	大館市消防団大館第 1 3 分団（二井田）に消防ポンプ自動車（日野・C D- 型）を更新配置
平成 29 年 1 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団比内第 3 分団（中野）に消防車庫を新築し、小型動力ポンプ付積載車を配置
平成 29 年 4 月	佐藤久仁消防長退職に伴い、後任に三浦勝彦消防次長兼消防総務課長が消防長に就任
平成 29 年 12 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 2 名を救急救命東京研修所に派遣（公財）日本消防協会から交付された防災活動車（スバル・フォレスター）1 台を団本部へ配置
平成 30 年 2 月	災害対応特殊救助工作車 型（いすゞ）1 台購入、本署に更新配置
平成 30 年 4 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団大館第 2 4 分団（陣場）に消防車庫を新築し、小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配置
平成 30 年 5 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
平成 30 年 10 月	職員 1 名減員（実員 1 2 2 名 再任用 1 名含む）
平成 30 年 12 月	弘前地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結
平成 31 年 3 月	大館市消防団大館第 5 分団（釈迦内）に消防ポンプ自動車（日野・C D- 型）を更新配置
平成 31 年 4 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団田代第 3 分団（岩瀬）に小型動力ポンプ付積載車を更新配置
令和元年 7 月	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 型（日野・A - 級 1,500 ㍓、薬液 500 ㍓）1 台購入、北分署へ配置
令和元年 10 月	初の女性消防吏員 1 名採用
令和 2 年 2 月	秋田県消防防災航空隊へ職員 1 名を交替させ継続派遣
令和 2 年 3 月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員 1 名を救急救命東京研修所に派遣
令和 2 年 4 月	五所川原地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結
令和 2 年 7 月	台風 1 9 号に伴う災害のため、秋田県緊急消防援助隊（消火隊、救急隊、後方支援隊）が宮城県丸森町へ出動
令和 2 年 10 月	総務省から救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車（いすゞ・C D- 型）1 台が無償貸与され、大館市消防団田代第 5 分団（岩野目）に更新配置
令和 3 年 1 月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団大館第 8 分団（新沢）に消防車庫を新築し、小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配置、同じく大館市消防団比内第 6 分団（大葛）に小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を更新配置
令和 3 年 2 月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 型（日野・A - 級 2,000 ㍓）1 台、消防ポンプ自動車（いすゞ・C D- 型）1 台購入、田代分署へ更新配置
令和 3 年 3 月	総務省から重機（コベルコ）1 台及び重機搬送車（三菱ふそう）1 台が無償貸与され本署に配置
令和 3 年 4 月	三浦勝彦消防長退職に伴い、後任に畠山一則消防次長兼消防総務課長が消防長に就任
令和 3 年 7 月	職員 4 名増員（実員 1 2 6 名 再任用 1 名含む）
令和 3 年 10 月	秋田県緊急消防援助隊「特殊装備隊（重機・重機搬送車）」として追加登録
令和 4 年 1 月	あきた北農業協同組合から消防用広報車（トヨタ・緊急車仕様）1 台が寄贈され、田代分署へ更新配置
令和 4 年 2 月	レスキュードローン（東光鉄工 U A V 事業部・R Q-I 型）1 台購入、本署へ配置
令和 4 年 3 月	消防ポンプ自動車（日野・C D- 型 1,500 ㍓）1 台購入、比内分署へ更新配置
令和 4 年 4 月	災害対応特殊救急自動車（トヨタ・ハイメディック）1 台購入、比内分署へ更新配置

令和３年 ３月	消防団機動分団化に伴い、大館市消防団大館第１７分団(葛原)に消防車庫を新築し、小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配置
令和３年 ４月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣 職員１名増員（実員１２７名 再任用１名含む） 大館市消防団を４０分団から１５分団へ再編
令和３年 12月	指揮車（トヨタ・ハイエース・緊急車仕様）１台購入、本署へ更新配置
令和４年 １月	大館市消防団第１４分団（山田）に消防ポンプ自動車（日野・ＣＤ-I型）を更新配置
令和４年 ２月	消防ポンプ自動車（日野・ＣＤ-Ⅱ型 1,500ℓ）１台購入、比内分署へ更新配置 消防団機動分団化に伴い、大館市消防団第８分団（土目内）及び第１２分団（八木橋）に消防車庫を新築し、小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配置
令和４年 ４月	畠山一則消防長退職に伴い、後任に虹川茂樹消防次長兼消防署長が消防長に就任 秋田県消防防災航空隊へ職員１名を交替させ継続派遣 職員１名増員（実員１２８名 再任用３名含む）
令和４年 ８月	８月３日からの記録的な大雨により、下内川の決壊等で市内に甚大な被害をもたらした もたらした激甚災害に指定された
令和４年 ９月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣
令和４年 12月	大館市消防団第１２分団（水無）に消防ポンプ自動車（日野・ＣＤ-I型）を更新配置
令和５年 ２月	災害対応特殊救急自動車（トヨタ・ハイメディック）１台購入、田代分署へ更新配置 （公財）日本消防協会から交付された防災活動車（三菱・エクリプスクロス）１台を団本部へ配置
令和５年 ３月	消防用広報車（日産・ＮＶ２００・緊急車仕様）１台購入、比内分署へ更新配置 消防団機動分団化に伴い、大館市消防団第５分団(本宮)に消防車庫を新築し、小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配置
令和５年 ４月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣
令和５年 11月	災害対応特殊救急自動車（トヨタ・ハイメディック）１台購入、北分署へ更新配置
令和６年 ３月	高機能型消防指令システム情報系を更新 消防団機動分団化に伴い、大館市消防団第４分団(二ツ森)及び第１２分団（羽立）に消防車庫を新築し、それぞれに小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）を配置
令和６年 ４月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣 職員１名減員（実員１２７名 再任用１名含む）
令和６年 11月	大館市消防団第１分団（田町）に消防ポンプ自動車（日野・ＣＤ-I型）を更新配置
令和７年 ３月	大館市消防団大館第２分団(餅田)に消防車庫を新築し、総務省から無償貸付された小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）１台を配置
令和７年 ２月	岩手県大船渡市林野火災のため、秋田県緊急消防援助隊（消火隊・後方支援隊 ３６名）が、岩手県大船渡市へ出動
令和７年 ４月	救急救命士の国家資格を取得するため、職員１名を救急救命東京研修所に派遣 実員１２７名 市総務部総務課出向１名、再任用２名含む 秋田県消防防災航空隊へ職員１名を交替させ継続派遣

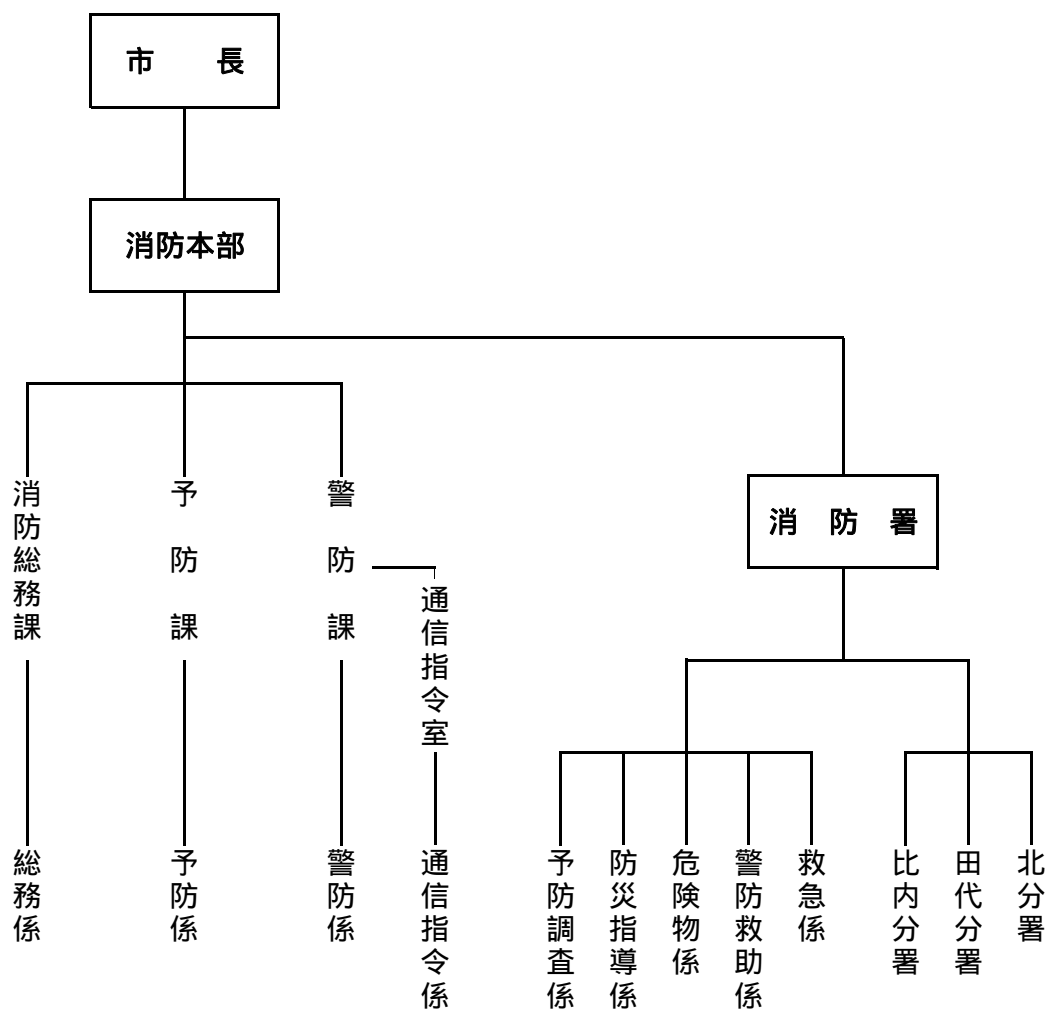
総

務

令和6年度の主な行事

令和6年	4月 7日～13日	春の火災予防運動	
	19日	秋田県消防長会総会	(秋田市)
		秋田県消防長会事務担当課長会議	(秋田市)
	26日	全国消防長会東北支部役員会総会、消防職員意見発表	(秋田市)
	5月17日	大館地区危険物安全協会役員会・総会	
	20日	東北電力と警察機関との CBRNE 災害対応訓練	
	26日	大館市水防訓練	
	6月23日	大館市消防団消防訓練大会	
	25日	大館市自主防災組織連絡協議会代議員会	
	7月 2日	米代川重要水防箇所合同巡視	
		消防救助技術秋田県大会(陸上の部)(由利本荘市)	
	5日	警察機関との合同水難救助訓練	
	26日	大館地区危険物安全協会第2回役員会	
	8月 6日	鹿角広域行政消防組合との水難救助合同訓練	(十和田湖)
	24日	秋田県消防操法大会	(由利本荘市)
	27日～28日	全国消防長会東北支部消防署長研修会	(米沢市)
	9月12日～13日	盛岡地区広域消防組合・弘前地区消防事務組合消防本部との重機合同訓練	(盛岡市)
	13日	県北地区救命救急技術訓練	(能代市)
	10月 7日、10日	秋田市消防本部との土砂災害合同検索訓練	(秋田市)
	25日	秋田県消防長会消防署長研修会	(男鹿市)
	11月 2日～3日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練	(秋田市)
	3日～9日	秋の火災予防運動	
	15日	秋田県消防救助研究会	
	27日	全国消防長会東北支部消防長研修会	(青森市)
令和7年	1月 5日	大館市消防出初式	
	24日	文化財防火デー消防訓練	
	2月10日	秋田県消防長会定例会	(秋田市)
		消防職員意見発表秋田県大会	(秋田市)
	2月26日、28日	北秋田消防、鹿角消防、能代消防との CSR 合同訓練	

組 織 図



- | | | |
|-------|-------------|---------------------------|
| 1 名 称 | 大館市消防本部・消防署 | |
| 2 位 置 | 消防本部・消防署 | 秋田県大館市根下戸新町 1 番 1 号 |
| | ○ 北 分 署 | 秋田県大館市釈迦内字稲荷山下 2 0 2 番地 |
| | ○ 比内分署 | 秋田県大館市比内町扇田字新大堤下 9 3 番地 6 |
| | ○ 田代分署 | 秋田県大館市早口字深沢岱 3 6 番地 5 1 |

管内図



消 防 庁 舎 の 現 況

令和7年4月1日現在

署 名	所 在 地	建 物 構 造	建築延面積 (㎡)	建築年月	本部から の距離(km)
消防本部 消 防 署	大館市根下戸新町 1 番 1 号	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,311.11	昭和48年12月	-
		高機能消防指令センター 鉄骨造 2 階建	184.00	平成26年11月	
		救急棟 鉄骨造一部 2 階建	393.94	平成12年 3月	
北 分 署	大館市釈迦内字稲荷山下 2 0 2 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	935.42	令和 6年10月	5.4
比内分署	大館市比内町扇田字新大堤下 9 3 番地 6	鉄筋コンクリート造 3 階建 (大館市役所比内総合支所内)	212.01 (5,385.83)	平成 9年 4月	8.3
田代分署	大館市早口字深沢岱 3 6 番地 5 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	229.50	昭和48年12月	8.0
		第二車庫(鉄骨製ホース乾燥塔付) 鉄筋コンクリート造平屋建	26.48	昭和51年12月	
		第三車庫 その他(スチール製)平屋建	21.89	平成19年 2月	

歴代消防長・消防署長

歴 代		氏 名	就 任	退 任	備 考
消 防 長	初 代	小 林 定 義	S23. 3. 7	S35. 5.31	消防組織法施行
	二 代	竹 内 福 哉	S35. 6. 1	S39. 2.28	助役兼務
	三 代	根 本 自 朗	S39. 3. 1	S44. 3.31	
	四 代	竹 内 福 哉	S44. 4. 1	S48. 3.31	助役兼務
	初 代	石 川 芳 男	S48. 4. 1	S48. 5.31	広域組合発足 管理者兼務
	二 代	成 田 誠 一	S48. 6. 1	S54. 7. 2	
	三 代	秋 元 五 郎	S54. 7. 3	H 1. 3.31	
	四 代	近 藤 忠	H 1. 4. 1	H 3. 3.31	
	五 代	成 田 喜三郎	H 3. 4. 1	H 3.11.30	
	六 代	佐々木 藤 清	H 3.12. 1	H 5. 3.31	
	七 代	鳴 海 正 富	H 5. 4. 1	H 6. 3.31	
	八 代	松 川 擴	H 6. 4. 1	H 7. 3.31	
	九 代	原 亮 司	H 7. 4. 1	H10. 3.31	
	十 代	成 田 正 市	H10. 4. 1	H12. 3.31	
	十一代	奥 村 秀 夫	H12. 4. 1	H13. 3.31	
	十二代	木 村 博	H13. 4. 1	H14. 3.31	
	十三代	鳴 海 義 衛	H14. 4. 1	H17. 6.19	広域組合解散
	初 代	鳴 海 義 衛	H17. 6.20	H19. 3.31	大館市消防長
	二 代	椿 谷 賢 治	H19. 4. 1	H20. 3.31	
	三 代	菅 原 博 昭	H20. 4. 1	H22. 3.31	
	四 代	石 井 直 文	H22. 4. 1	H24. 3.31	
	五 代	畠 山 亮 一	H24. 4. 1	H25. 3.31	
	六 代	渡 部 明	H25. 4. 1	H26. 3.31	
	七 代	佐 藤 久 仁	H26. 4. 1	H29. 3.31	
	八 代	三 浦 勝 彦	H29. 4. 1	R 2. 3.31	
	九 代	畠 山 一 則	R 2. 4. 1	R 4. 3.31	
	十 代	虻 川 茂 樹	R 4. 4. 1	現 在	
消 防 署 長	初 代	小 林 定 義	S23. 3. 7	S33. 4.15	消防組織法施行
	二 代	根 本 自 朗	S33. 4.16	S44. 3.31	
	三 代	秋 元 五 郎	S44. 4. 1	S48. 3.31	
	初 代	秋 元 五 郎	S48. 4. 1	S54. 7. 8	広域組合発足
	二 代	小笠原 正 雄	S54. 7. 9	S61. 3.31	
	三 代	近 藤 忠	S61. 4. 1	H 2. 3.31	
	四 代	稲 葉 貞 一	H 2. 4. 1	H 3. 3.31	
	五 代	佐々木 藤 清	H 3. 4. 1	H 4. 3.31	
	六 代	金 廣	H 4. 4. 1	H 5. 3.31	
	七 代	工 藤 正 己	H 5. 4. 1	H 7. 3.31	
	八 代	奥 村 秀 夫	H 7. 4. 1	H10. 3.31	
	九 代	木 村 博	H10. 4. 1	H12. 3.31	
	十 代	鳴 海 義 衛	H12. 4. 1	H14. 3.31	
	十一代	虻 川 義 幸	H14. 4. 1	H17. 6.19	広域組合解散
	初 代	虻 川 義 幸	H17. 6.20	H19. 3.31	大館市消防署長
	二 代	成 田 啓 一	H19. 4. 1	H21. 3.31	
	三 代	石 井 直 文	H21. 4. 1	H22. 3.31	
	四 代	畠 山 亮 一	H22. 4. 1	H24. 3.31	
	五 代	渡 部 明	H24. 4. 1	H25. 3.31	
	六 代	大 澤 健 一	H25. 4. 1	H28. 3.31	
七 代	田 中 良 悦	H28. 4. 1	H30. 3.31		
八 代	畠 山 一 則	H30. 4. 1	H31. 3.31		
九 代	虻 川 茂 樹	H31. 4. 1	R 4. 3.31		
十 代	佐々木 洋 一	R 4. 4. 1	現 在		

消 防 本 部 の 事 務 分 掌

1 消防総務課

(1) 総 務 係

- (1) 公印の制定及び管守に関する事。
- (2) 消防組織に関する事。
- (3) 文書の発送、受領、保存及び廃棄に関する事。
- (4) 消防職員の任免及び配置に関する事。
- (5) 消防職員の分限及び懲戒に関する事。
- (6) 消防職員の服務に関する事。
- (7) 消防職員の給与に関する事。
- (8) 消防職員の旅費に関する事。
- (9) 消防職員の福利厚生及び保健衛生に関する事。
- (10) 消防職員の研修に関する事。
- (11) 消防職員の公務災害補償に関する事。
- (12) 第4号から前号までに定めるもののほか、消防職員の人事に関する事。
- (13) 消防職員委員会に関する事。
- (14) 庁舎の管理及び衛生安全管理に関する事。
- (15) 備品及び財産の管理に関する事。
- (16) 栄典及び表彰に関する事。
- (17) 消防団に関する事。
- (18) 消防本部及び消防署の庶務に関する事。
- (19) その他他課及び消防署の所管に属さない事。

2 予 防 課

(1) 予 防 係

- (1) 防火対象物に係る表示制度に関する事。
- (2) 消防署の予防調査係、防災指導係及び危険物係の庶務に関する事。
- (3) その他火災予防に関する事。

3 警 防 課

(1) 警 防 係

- (1) 通信指令室並びに署の警防救助係及び救急係の庶務に関する事。
- (2) 車両の運行管理に関する事。
- (3) 相互応援協定に関する事。
- (4) その他警防に関する事。

(2) 通信指令室 通信指令係

- (1) 災害及び救急通報の受理に関する事。
- (2) 通信消防指令装置の運用及び管理に関する事。
- (3) 無線局の運用及び保守管理に関する事。
- (4) 出動指令と部隊編成に関する事。
- (5) 災害情報の収集に関する事。
- (6) その他消防通信に関する事。

消 防 署 の 事 務 分 掌

1 予防調査係

- (1) 火災予防の企画及び広報に関すること。
- (2) 火災原因調査及び損害調査に関すること。
- (3) 自主防災組織の育成指導に関すること。
- (4) 大館市火災予防条例（平成 17 年条例第 89 号）の規定に基づく届出（危険物等に関するものを除く。）に関すること。
- (5) その他火災予防に関すること。

2 防災指導係

- (1) 建築同意事務に関すること。
- (2) 防火管理者の指導及び消防計画に関すること。
- (3) 消防用設備等の設置及び維持の指導並びに検査に関すること。
- (4) 防災計画に関すること。
- (5) 雪害、風害及び水害に関すること。
- (6) 予防査察に関すること。

3 危険物係

- (1) 危険物施設の許可及び認可に関すること。
- (2) 危険物取扱者及び保安監督者の指導等に関すること。
- (3) 液化石油ガス販売事業所に対する意見書等に関すること。
- (4) 危険物予防規程の認可に関すること。
- (5) 危険物安全協会の育成指導に関すること。
- (6) その他危険物に関すること。

4 警防救助係

- (1) 火災等の警戒及び防御に関すること。
- (2) 消防吏員の規律及び訓練に関すること。
- (3) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (4) 火災・消防警戒区域の設定に関すること。
- (5) 火災警報及び気象情報に関すること。
- (6) 消防地水利及び消防用施設の調査、保全に関すること。
- (7) 消防用機械器具及び車両の保守管理並びに技術指導に関すること。
- (8) 救助業務に関すること。
- (9) 救助資機材の保守管理に関すること。
- (10) 救助技術の養成及び指導に関すること。
- (11) 水防に関すること。
- (12) その他警防及び救助に関すること。

5 救 急 係

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 救急資機材の保守管理に関すること。
- (3) 救急訓練及び指導に関すること。
- (4) 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- (5) その他救急に関すること。

消防職員階級別実数調

令和 7 年 4 月 1 日

職 名	階級及び職名別	実 数
消 防 吏 員	消 防 監	1
	消防司令長	4
	消 防 司 令	1 3
	消防司令補	2 3
	消 防 士 長	* 1 4 3
	消防副士長	1 2
	消 防 士	2 9
	小 計	1 2 5
消防吏員以外の消防職員	事 務 吏 員	* 2 2
	小 計	2
合 計		1 2 7

* 1 1 名 消防防災航空隊へ派遣

* 2 2 名 再任用職員

消防職員配置状況

令和 7 年 4 月 1 日

階級別 名称	計	消 防 吏 員							事 務 職 員
		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	
消防本部	2 5	1	3	5	4	6 * 1	2	2	2 * 2
消防署	5 4 (1)		1 (1)	5	1 0	1 7	7	1 4	
北分署	1 6			1	3	7	1	4	
比内分署	1 6			1	3	6	1	5	
田代分署	1 6			1	3	7	1	4	
合 計	1 2 7	1	4 (1)	1 3	2 3	4 3	1 2	2 9	2

() 消防本部職員が兼務

* 1 1 名 消防防災航空隊へ派遣

* 2 2 名 再任用職員

消防職員階級別勤続年数

令和7年4月1日現在

勤続年数別 階級別	計	1年 未満	1～ 4年	5～ 9年	10～ 14年	15～ 19年	20～ 24年	25～ 29年	30～ 34年	35年 以上	平均 (年)
消防監	1									1	35.0
消防司令長	4								3	1	32.8
消防司令	13								13		31.9
消防司令補	23				1		3	4	15		28.3
消防士長	43				10	29	3	1			16.7
消防副士長	12			1	10	1					11.7
消防士	29	2	5	16	6						6.3
主任(再任用)	2		2								2
計	127	2	7	17	27	30	6	5	31	2	17.9

消防職員階級別年齢構成

令和7年4月1日現在

勤続年数別 階級別	計	20歳 未満	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55歳 以上	平均 (歳)
消防監	1									1	59.0
消防司令長	4								1	3	54.8
消防司令	13							1	9	3	52.9
消防司令補	23						2	12	9		48.4
消防士長	43					20	23				39.4
消防副士長	12			1	9	2					31.8
消防士	29	2	9	13	5						25.8
主任(再任用)	2		2								62
計	127	2	11	14	14	22	25	13	19	7	39.6

令和 7 年度 消防費予算分類表

(単位 : 千円)

款	項	目	節	令和 7 年度	令和 6 年度
9	1	消防費		1,523,672	1,713,014
		1	常備消防費	1,154,968	1,079,540
			1 報酬	1,920	3,240
			2 給料	495,080	462,535
			3 職員手当等	403,443	368,890
			4 共済費	171,688	163,372
			7 報償費	7	33
			8 旅費	1,962	2,046
			10 需用費	37,640	37,755
			11 役務費	17,785	17,957
			12 委託料	16,007	14,664
			13 使用料及び賃借料	116	219
			15 原材料費	54	52
			17 備品購入費	3,350	2,874
			18 負担金補助及び交付金	5,063	4,843
			26 公課費	853	1,060
		2	非常備消防費	77,526	76,464
			1 報酬	19,105	19,736
			4 共済費	21,444	21,444
			7 報償費	70	69
			8 旅費	12,470	12,710
			10 需用費	14,068	12,380
			11 役務費	1,320	1,254
			13 使用料及び賃借料	243	318
			17 備品購入費	495	495
			18 負担金補助及び交付金	7,266	7,457
			26 公課費	1,045	601
		3	消防施設整備費	242,263	473,090
			10 需要費	0	283
			11 役務費	0	184
			12 委託料	89,458	15,059
			14 工事請負費	0	415,968
			17 備品購入費	152,805	41,596
		4	施設維持及び改良費	5,942	3,768
			10 需用費	672	992
			13 使用料及び賃借料	303	303
			14 工事請負費	4,440	1,468
			17 備品購入費	527	499
			18 負担金補助及び交付金	0	506

款	項	目	節	令和 7 年度	令和 6 年度
9	1	5	水防費	401	401
			1 報酬	7	7
			8 旅費	235	235
			10 需用費	156	156
			11 役務費	3	3
		6	災害対策費	42,572	79,751
			1 報酬	3,414	3,446
			3 職員手当等	1,118	1,077
			7 報償費	35	1,024
			8 旅費	764	822
			10 需用費	2,571	2,545
			11 役務費	584	608
			12 委託料	11,311	26,699
			13 使用料及び賃借料	1,571	1,665
			15 原材料費	27	26
			17 備品購入費	0	31,240
			18 負担金補助及び交付金	21,177	10,599

消防力の整備指針と現有勢力

令和7年4月1日現在

区 分	基 準 (台)	現 有 (台)	運 用	基準人員 (人)	現在人員 (人)
消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	7	ペア運用	7 3	7 7
梯子付消防ポンプ自動車	1	1	乗換運用	1 5	8
救 助 工 作 車	1	1			
化 学 消 防 自 動 車	1	1	ペア運用	1 2	1 2
救 急 自 動 車	4	0	専従運用	—	—
		4	兼務運用	—	—
指 令 車	1	1	専従運用	1 2	5
非 常 用 救 急 自 動 車	1	1	乗換運用	—	—
特 殊 車 等	7	7〔2〕	広報車4台、資機材搬送車、重機搬送車、水槽車（小型動力ポンプ付水槽車）		
車 両 合 計	2 3	2 3〔2〕	〔 〕の車両は、基準対象外で連絡車2台		
通 信 員				9	9
庶務の処理等の要員				1 2	1 2
予 防 事 務 の 要 員				2 2	8
うち交替制による職員をもって充てる人員数				4	4
人 員 合 計				1 6 0	1 2 7

消防署・所の基準

令和7年4月1日現在

区 別	国	市町村	現 有	摘 要
	基 準	基 準		国の基準：市街地に署所を設置 市町村の基準：現有数
消防署・所	2	4	4	

消防職員の技能資格取得状況

令和7年4月1日現在

資 格 別	人 数
自動車運転・整備関係	準中型（5 t 限定）
	5
	準中型（7.5 t 限定）
	14
	中型自動車（8 t 限定）
	17
	中型自動車
	23
	大型自動車
	66
救 急 救 助 関 係	大型特殊自動車
	29
	車両系建設機械（整地）
	27
	車両系建設機械（解体）
	22
	自動二輪
	27
	けん引
	2
通 信 関 係	救急救命士
	42
	救急隊員資格者（救命士除く）
	68
	秋田県准看護師
	1
	玉掛技能
	56
	小型移動式クレーン
危 険 物 関 係	50
	ガス溶接技能
	41
	三級ダイバー
	28
予 防 技 術 検 定	潜水土
	63
	小型船舶
	28
	第一級陸上特殊無線技士
建 築 ・ 消 防 設 備 関 係	1
	第二級陸上特殊無線技士
	115
	甲 種
	3
再任用職員・事務吏員を除く	乙 種（第4類）
	123
	乙 種（第5類）
	15
	乙 種（第6類）
再任用職員・事務吏員を除く	13
	丙 種
	8
	防火査察
再任用職員・事務吏員を除く	78
	消防用設備等
	17
再任用職員・事務吏員を除く	危険物
	27
	甲 種
	1
再任用職員・事務吏員を除く	乙 種（第1類）
	1
	乙 種（第4類）
	1
再任用職員・事務吏員を除く	乙 種（第6類）
	6

再任用職員・事務吏員を除く

応援協定・業務協定

【昭和30年 5月 1日 施行】

消防組織法第24条により、「秋田県警察消防相互援助協定」が締結（昭和30年5月1日）されたのに伴い、大館市と大館警察署との間で「相互援助協定」を締結

【昭和42年11月15日 施行】

「大館市・鷹巣町消防相互応援協定」を締結

【平成10年 7月18日 施行】

「大館能代空港における航空機事故に対する消火救難活動に関する協定」

【平成11年 4月 1日 施行】

「秋田県消防防災ヘリコプター応援協定」

【平成20年 9月17日 施行】

JR東日本旅客鉄道(株)秋田支社・盛岡支社と
「鉄道災害発生時における消防活動に関する協定書」を締結

【平成25年11月30日 施行】

鹿角広域行政組合と「秋田自動車道消防相互応援協定」を締結

【平成26年 3月11日 施行】

大館市建設業協会、大館警察署と「災害時における支援に関する協定」を締結

【平成26年 4月 1日 施行】

国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所と
「日本海沿岸東北自動車道（大館北IC～小坂北IC）における
道路管理用通信施設の一部使用に関する協定書」を締結

【平成28年10月22日 施行】

北秋田市消防本部と「日本海沿岸東北自動車道消防相互応援覚書」を締結

【平成28年12月 1日 施行】

秋田県健康福祉部と「エボラ出血熱の患者の移送に係る協定書」を締結

【平成29年 4月 1日 施行】

「秋田県広域消防相互応援協定」を締結
「秋田県広域消防相互応援協定書の解釈・運用に係る確認書」を締結

【平成30年 5月11日 施行】

弘前地区消防事務組合と「消防相互応援協定」、
「消防相互応援協定の運用に係る確認書」を締結

【令和元年 7月 2日 施行】

五所川原地区消防事務組合と「消防相互応援協定」、
「消防相互応援協定の運用に係る確認書」を締結

予

防

特殊防火対象物の現況

項目 区分			防火対象物数
1	イ	劇場・映画館等	6
	ロ	公会堂又は集会場	109
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0
	ロ	遊技場又はダンスホール	13
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0
	ニ	カラオケボックス等	3
3	イ	待合・料理店等	4
	ロ	飲食店	67
4		百貨店・マーケット等	152
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	28
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	449
6	イ	病院・診療所等	57
	ロ	老人短期入所施設等	68
	ハ	老人デイサービスセンター等	85
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4
7		小・中・高等学校、各種学校等	79
8		図書館・博物館等	13
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0
	ロ	上記以外の公衆浴場	16
10		車両の停車場	1
11		神社・教会等	63
12	イ	工場又は作業場	594
	ロ	映画・テレビスタジオ等	0
13	イ	自動車車庫又は駐車場	70
	ロ	航空機格納庫	1
14		倉庫	468
15		前各項に該当しない事業場	597
16	イ	複合用途のうち特定用途に供するもの	218
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	177
17		文化財等	5
合 計			3,347

建築同意及び通知の状況

令和6年中

防火対象物			区 分	合 計	月 別												新築	増築	改築	その他
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
同 意	1	イ	劇場・映画館等																	
		ロ	公会堂又は集会場	1				1								1				
	2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																	
		ロ	遊技場又はダンスホール																	
		ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																	
	3	ニ	カラオケボックス等																	
		イ	待合・料理店等																	
	ロ	飲食店	2				1		1							2				
	4		百貨店・マーケット等	1											1		1			
	5	イ	旅館・ホテル・宿泊所																	
		ロ	寄宿舎・共同住宅等	5	3								1			1	5			
	6	イ	病院・診療所等																	
		ロ	老人短期入所施設等																	
		ハ	老人デイサービスセンター等																	
	ニ	幼稚園・養護学校等																		
	7		小・中・高等学校、各種学校等																	
	8		図書館・博物館等																	
9	イ	蒸気・熱気浴場等																		
	ロ	上記以外の公衆浴場																		
10		車両の停車場																		
11		神社・教会等																		
12	イ	工場又は作業場	9		2	1	2		2		1		1			7	2			
	ロ	映画・テレビスタジオ等																		
13	イ	自動車車庫・又は駐車場	3										2	1		3				
	ロ	航空機格納庫																		
14		倉庫	4	1			1						1	1		4				
15		前各項に該当しない事業場	10	1	1		1	1	1	1	1			1	2	7	3			
16	イ	複合用途のうち特定用途に供するもの	2								1			1			2			
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物																		
17		文化財等																		
そ の 他		危険物施設等																		
		長屋住宅等	3		2				1							3				
		防火・準防火地域内の住宅	13		1	3			4	3	1		1			11	2			
		住宅に付属する車庫・物置	6				2						2	1	1	6				
		農業用作業場及び倉庫																		
		軽量鉄骨造・その他の住宅																		
		通路及び仮通路																		
	防火対象物に付属する車庫																			
合 計				59	5	6	4	6	3	8	6	3	4	7	2	5	49	10		
計画通知																				

中・高層建築物現況（４階以上）

階 別 \ 地域別	防火対象物数
４ 階	52
５ 階	21
６ 階	7
７ 階	2
８ 階	2
９ 階	2
10 階	2
11 階	0
12 階	1
計	89

危険物施設の状況

単位：件

令和7年4月1日現在

区 分		令和6年度	令和5年度	令和4年度
製 造 所				
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	34	33	30
	屋外タンク貯蔵所	56	57	46
	屋内タンク貯蔵所	19	20	18
	地下タンク貯蔵所	95	95	98
	移動タンク貯蔵所	106	111	109
	簡易タンク貯蔵所			
	屋 外 貯 蔵 所	3	3	3
	小 計	313	319	304
取 扱 所	給 油 取 扱 所	61	62	62
	第1種販売取扱所	2	2	2
	第2種販売取扱所			
	一 般 取 扱 所	75	76	70
	移 送 取 扱 所			
	小 計	138	140	134
そ の 他	少 量 危 険 物	1,717	1,699	1,685
	指 定 可 燃 物	69	66	66
	小 計	1,786	1,765	1,751
総 計		2,237	2,224	2,189

危険物施設の許認可状況

単位：件

令和7年4月1日現在

区 分		令和6年度	令和5年度	令和4年度
危険物製造所等	設置許可申請	7	17	19
	完成検査申請	6	29	7
	変更許可申請	15	16	23
	変更完成検査申請	15	17	22
	仮使用承認申請	7	10	13
	タンク検査申請	8	10	9
	確認試験			
	廃止届	14	9	16
	譲渡引渡届	2	3	3
	種類数量変更届	11	8	5
危険物保安監督者選任届		18	34	23
危険物保安監督者解任届		18	34	20
少量危険物取扱所設置届		25	19	24
少量危険物取扱所廃止届		7	8	7
指定可燃物取扱所設置届		3	5	5
指定可燃物取扱所廃止届			1	
仮貯蔵仮取扱承認申請				3
総 数		156	220	199

防 火 管 理 者 選 任 届 状 況

令和7年4月1日現在

区 分			防火管理義務対象物数	選任している対象物数	
項 目					選任率%
1	イ	劇場・映画館等	6	6	100
	ロ	公会堂又は集会場	103	72	70
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	0	0	-
	ロ	遊技場又はダンスホール	13	13	100
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0	0	-
	ニ	カラオケボックス等	3	3	100
3	イ	待合・料理店等	1	1	100
	ロ	飲食店	67	43	64
4		百貨店・マーケット等	105	78	74
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	27	23	85
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	13	9	69
6	イ	病院・診療所等	19	17	89
	ロ	老人・児童福祉施設等	54	44	81
	ハ	老人デイサービスセンター等	43	38	88
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1	1	100
7		小・中・高等学校、各種学校等	30	30	100
8		図書館・博物館等	7	6	86
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0	0	-
	ロ	上記以外の公衆浴場	9	7	78
10		車両の停車場	1	1	100
11		神社・教会等	36	28	78
12	イ	工場又は作業場	25	22	88
	ロ	映画・テレビスタジオ等	0	0	-
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1	0	0
	ロ	航空機格納庫	0	0	-
14		倉庫	3	3	100
15		前各項に該当しない事業場	67	55	82
16	イ	複合用途のうち特定用途に供するもの	86	66	77
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	20	14	70
17		文化財等	1	1	100
合 計			741	581	78

各 種 届 出 事 務 処 理 状 況

年度 区 分	令和 6 年度	令和 5 年度
総 数	2,175	2,099
防火対象物使用開始届	57	68
防火管理者選（解）任届	140	124
消防計画届	195	186
消防用設備等の点検結果報告	969	962
消防訓練実施届	627	612
禁止行為解除承認申請	14	13
火災と紛らわしい行為の届	41	46
山野火入届		
炉設置届		
温風暖房機設置届		
厨房設備設置届		
乾燥設備設置届	1	5
サウナ設備届		2
給湯湯沸設備設置届	6	7
燃料電池発電設備設置届		
ヒートポンプ冷暖房機設置届		
火花を生ずる設備設置届		
放電加工機設置届		
変電設備設置届	12	14
急速充電設備設置届	2	
発電設備設置届	3	7
蓄電池設備設置届	5	2
ネオン管灯設備設置届		
水素ガスを充填する気球の設置届		
煙火打上げ届	8	8
催物開催届	5	5
露店等の開設届	34	
ボイラー設置届	6	3
少量危険物貯蔵取扱所届	34	18
圧縮アセチレンガス等の届	12	12
指定可燃物貯蔵取扱所届	4	5

予 防 広 報 活 動 状 況

区 分		令和6年度	令和5年度
		総 数	総 数
総 数	実施回数	188	166
	対象人員	11,294	11,435
防火講話	実施回数	15	16
	対象人員	684	1,258
消防訓練	実施回数	144	131
	対象人員	10,009	9,723
消防見学	実施回数	29	19
	対象人員	601	454

統

計

火 災 発 生 状 況 比 較

区 分	単位	令和 6 年 A	令和 5 年 B	増減 A - B
出火件数（爆発）	件			
建物		21	12	9
林野		3	2	1
車両		4	4	0
その他の		8	6	2
合 計	件	36	24	12
焼 損 棟 数	棟			
全 焼		17	13	4
半 焼		2	1	1
部 分 焼		14	6	8
ぼ や		4	1	3
合 計	棟	37	21	16
建物焼損面積	m ²	1,932	3,497	1,565
建物焼損表面積	m ²	252	59	193
林野焼損面積	a	335	37	298
死 者	人	5	0	5
負 傷 者	人	8	7	1
罹 災 世 帯	世帯			
全 損		9	4	5
半 損		1	0	1
小 損		8	5	3
合 計	世帯	18	9	9
罹 災 人 員	人	50	32	18
損 害 額	千円			
建物		103,607	732,426	628,819
林野		377	301	76
車両		1,613	3,690	2,077
その他の		302	6	296
爆 発		0	0	0
合 計	千円	105,899	736,423	630,524
出 火 率 (人口1万人当たり)		5.50	3.46	2.03
死 者 発 生 率 (人口10万人当たり)		7.63	0.00	7.63

月別・年別火災発生状況

令和6年中

区 分	火災種別件数（件）					り災棟数（棟）					焼 損 面 積		死傷者		り災世帯数				り 災 人 員 （人）	損 害 額（千円）							
	総 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	総 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	爆 発	建 物 （㎡）	林 野 （a）	死 者	負 傷 者	総 計	全 損	半 損		小 損	総 額	建 物		林 野	車 両	そ の 他	爆 発
																						建 物	収容物				
総計	36	21	3	4	8	37	17	2	14	4		1,932	335	5	8	18	9	1	8	50	105,899	85,745	17,862	377	1,613	302	
1月	2	1		1		5	1		4			373				3	1		2	15	7,921	6,830	676		415		
2月	1	1				1	1					13			1						208	161	47				
3月	5	2			3	5	2	1	2			330		2		3	2		1	11	25,296	23,270	1,940		55	31	
4月	7	2	2	1	2	2	1		1			6	65								537	29	1	377	130		
5月	4	1	1		2	1		1				118	270								9,947	9,947					
6月	1	1				1	1					98		1		1	1			1	2,134	2,038	96				
7月	1	1				1			1			37									3,620	1,417	2,203				
8月	3	2		1		4	2		2			417			2	3	2		1	8	10,861	9,831	967		63		
9月	2	1		1		1	1					115									2,763	1,789	332		642		
10月	3	3				4	2			2		53				1			1	2	20,294	19,943	351				
11月	4	3			1	4	2		2			228		1	4	2	1		1	4	13,303	5,375	7,619		38	271	
12月	3	3				8	4		2	2		144		1	1	5	2	1	2	9	9,015	5,115	3,630		270		
平成26	39	20	10	3	6	37	11	4	15	7		1,780	113	5	12	21	5		16	43	67,009	45,397	16,129	629	419	4,435	
平成27	35	19	2	5	9	38	16	2	14	6		2,865	46	7	8	19	11	1	7	40	92,748	66,083	17,711	1,229	4,445	2,077	1,203
平成28	26	18	5	1	2	30	13	3	10	4		2,309	96	2	9	22	8	3	11	56	65,878	48,121	15,060	269	1,627	753	48
平成29	19	12	2	2	3	26	9	3	10	4		1,147	16	1	7	14	5	1	8	46	20,269	14,596	4,854	132	345	342	
平成30	21	11	1	5	4	24	8	3	6	7		1,447	556			13	3	2	8	31	37,325	21,508	7,397	7,725	638	57	
令和元	22	9	4	1	8	31	16	3	8	4		2,324	56		8	14	5	1	8	39	63,198	31,197	30,442	571	454	534	
令和2	22	13	1	2	6	36	20	3	8	5		2,103	280	3	4	15	8		7	48	65,911	26,198	11,669	26,992	791	261	
令和3	17	11		1	5	19	8		5	6		1,137		5	4	10	5		5	23	35,583	29,826	3,199		2,422	136	
令和4	30	15	3	3	9	20	8		4	8		740	18	2	5	11	3	1	7	23	13,618	9,931	1,522	950	1,053	162	
令和5	24	12	2	4	6	21	13	1	6	1		3,497	37		7	9	4		5	32	736,423	439,674	292,752	301	3,690	6	

出火原因別火災発生状況

令和6年中

原因別	総 数	火災件数(件)						焼失面積		死傷者		損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	
総 数	35	20	3	4			8	1,932	335	5	8	105,899
たばこ												
こんろ	1	1						144				3,106
かまど												
風呂かまど												
炉												
焼却炉												
ストーブ	2	2						13			1	233
こたつ												
ボイラー												
煙突・煙道												1
排気管												
電気機器												
電気装置	2	2						294				11,192
電灯・電話等の配線												
漏電												
内燃機関	1			1								130
配線器具	4	2		2				279		1		28,026
火あそび												
マッチ・ライター												
ごみ焼き等	5	1	1				3	6	50			275
溶接機・切断機	1	1						37				3,620
灯火	1	1									1	3
衝突の火花												
取灰												
火入れ												
放火												
放火の疑い												
その他	6	3		1			2	417			2	30,264
不明	11	6	2				3	742	285	3	4	23,143
調査中	1	1								1		5,906

火災による死傷者状況

単位：人

令和 6 年中

区 分	総 数	自 殺	火 傷	挫 傷	切 創	裂 創	気 道 炎	骨 折	CO 中 毒	そ の 他
総 数	13		13							
死 者	5		5							
消 防 吏 員										
消 防 団 員										
消防活動に関係のある者										
応 急 消 火 義 務 者	5		5							
消 防 協 力 者										
そ の 他										
負 傷 者	8		8							
消 防 吏 員	1		1							
消 防 団 員										
消防活動に関係のある者										
応 急 消 火 義 務 者	7		7							
消 防 協 力 者										
そ の 他										

建物の用途別火災発生状況

令和6年中

建物用途別	総 数	焼失面積 建 物 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
			死 者 (人)	負 傷 者 (人)	
総 数	21	1,932	5	8	104,241
住 宅	11	1,230	5	7	33,855
併 用 住 宅					
共 同 住 宅					
劇 場					
公 会 堂					
キ ャ バ レ ー					
遊 技 場					
料 理 店					
飲 食					
物 品 販 売 店					
旅 館					
病 院					
社 会 福 祉 施 設					
幼 稚 園					
学 校					
図 書 館					
公 衆 浴 場					
停 車 場					
神 社 ・ 寺 院					
工 場 ・ 作 業 場	1	37			3,620
ス タ ジ オ					
駐 車 場					
倉 庫	3	171			30,240
事 務 所					
複 合 用 途 (特 定)					
複 合 用 途 (非 特 定)	1				25
文 化 財					
そ の 他	5	494		1	36,501

救 急 出 動 状 況

(令和6年中)

月 別	総 数		火 災		自然災害		水難事故		交通事故		労働災害		運動競技		一般負傷		加害		自損行為		急 病		転院搬送		その他			
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員		
総 数	3,491	3,240	34	5					116	106	21	20	4	4	632	603	6	4	27	20	2,449	2,286	195	192	7			
1 月	336	313	2						22	17	1	1			60	58			1	1	232	219	18	17				
2 月	247	229	1	1					6	6	2	2			51	47			2	1	168	155	17	17				
3 月	305	285	4						3	3					61	60			3	2	216	202	18	18				
4 月	303	273	7						10	10	4	3	1	1	52	50	1	1	1		209	191	17	17	1			
5 月	241	222	3						7	7	4	4	1	1	38	36			2	1	172	160	13	13	1			
6 月	256	236	1						4	4	3	3			46	41			2	2	174	161	25	25	1			
7 月	286	275	2						13	14					37	36	2	2	3	2	217	209	12	12				
8 月	297	272	3	1					9	9	2	2	2	2	36	35	1		3	3	230	210	11	10				
9 月	274	259	2						5	4	3	3			56	54	2	1	2	1	187	179	17	17				
10月	292	270	3						12	9					62	60			3	3	193	182	16	16	3			
11月	305	284	3	2					13	10	1	1			64	62			4	3	203	190	17	16				
12月	349	322	3	1					12	13	1	1			69	64			1	1	248	228	14	14	1			
令和 2 年	2,768	2,607	26	4			3		162	152	25	25	3	3	472	459	1	1	20	11	1,878	1,780	174	172	4			
令和 3 年	2,886	2,711	19	6			1		125	119	42	42	4	4	504	493	2	1	22	16	1,979	1,853	177	177	11			
令和 4 年	3,359	3,143	20	5			1		164	145	38	38	1	1	556	535	7	4	27	23	2,387	2,246	148	146	10			
令和 5 年	3,481	3,240	32	5			2		147	127	33	33	11	11	574	552	4	3	24	20	2,458	2,299	192	189	4	1		
参考																												
大館地域	2,827	2,628	29	5					99	90	14	13	3	3	507	481	6	4	22	17	1,980	1,858	160	157	7			
比内地域	398	371	4						15	14			1	1	71	70			4	3	275	255	28	28				
田代地域	266	241	1						2	2	7	7			54	52			1		194	173	7	7				
管 外																												

地域別救急出動状況

(令和6年中)

事故 種別 地域別		合 計	救急事故種別										その他	
			火 災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	転院搬送	その他
休 日		657	5			19		2	140	1	3	474	13	
休日以外		2,834	29			97	21	2	492	5	24	1,975	182	7
合 計		3,491	34			116	21	4	632	6	27	2,449	195	7
合 計	出動件数	3,491	34			116	21	4	632	6	27	2,449	195	7
	不搬送件数	261	30			15	1		32	2	7	164	3	7
	搬送人員	3,240	5			106	20	4	603	4	20	2,286	192	
大 地 域	出動件数	2,827	29			99	14	3	507	6	22	1,980	160	7
	不搬送件数	208	25			14	1		28	2	5	123	3	7
	搬送人員	2,628	5			90	13	3	481	4	17	1,858	157	
比 内 域	出動件数	398	4			15		1	71		4	275	28	
	不搬送件数	27	4			1			1		1	20		
	搬送人員	371				14		1	70		3	255	28	
田 代 域	出動件数	266	1			2	7		54		1	194	7	
	不搬送件数	26	1						3		1	21		
	搬送人員	241				2	7		52			173	7	
管 外	出動件数													
	不搬送件数													
	搬送人員													

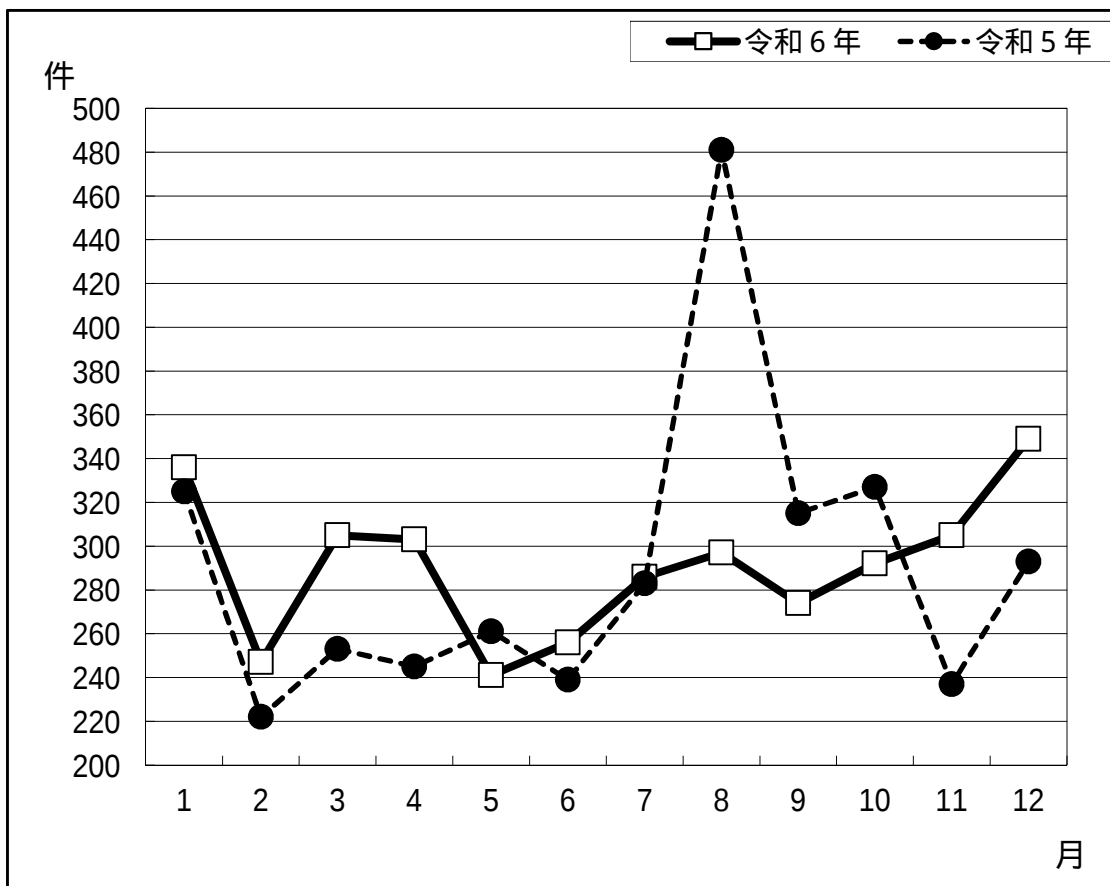
救急事故種別出動状況

(令和6年中)

区 分		種別 合計	救 急 事 故 種 別										その他	
			火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	そ の 他
1月	出動件数	336	2			22	1		60		1	232	18	
	不搬送	24	2			5			2			14	1	
	搬送人員	313				17	1		58		1	219	17	
2月	出動件数	247	1			6	2		51		2	168	17	
	不搬送	18							4		1	13		
	搬送人員	229	1			6	2		47		1	155	17	
3月	出動件数	305	4			3			61		3	216	18	
	不搬送	20	4						1		1	14		
	搬送人員	285				3			60		2	202	18	
4月	出動件数	303	7			10	4	1	52	1	1	209	17	1
	不搬送	31	7			1	1		2		1	18		1
	搬送人員	273				10	3	1	50	1		191	17	
5月	出動件数	241	3			7	4	1	38		2	172	13	1
	不搬送	19	3						2		1	12		1
	搬送人員	222				7	4	1	36		1	160	13	
6月	出動件数	256	1			4	3		46		2	174	25	1
	不搬送	20	1						5			13		1
	搬送人員	236				4	3		41		2	161	25	
7月	出動件数	286	2			13			37	2	3	217	12	
	不搬送	12	2						1		1	8		
	搬送人員	275				14			36	2	2	209	12	
8月	出動件数	297	3			9	2	2	36	1	3	230	11	
	不搬送	26	2			1			1	1		20	1	
	搬送人員	272	1			9	2	2	35		3	210	10	
9月	出動件数	274	2			5	3		56	2	2	187	17	
	不搬送	15	2			1			2	1	1	8		
	搬送人員	259				4	3		54	1	1	179	17	
10月	出動件数	292	3			12			62		3	193	16	3
	不搬送	24	3			4			3			11		3
	搬送人員	270				9			60		3	182	16	
11月	出動件数	305	3			13	1		64		4	203	17	
	不搬送	23	2			3			2		1	14	1	
	搬送人員	284	2			10	1		62		3	190	16	
12月	出動件数	349	3			12	1		69		1	248	14	1
	不搬送	29	2						7			19		1
	搬送人員	322	1			13	1		64		1	228	14	
合 計	出動件数	3,491	34			116	21	4	632	6	27	2,449	195	7
	不搬送	261	30			15	1		32	2	7	164	3	7
	搬送人員	3,240	5			106	20	4	603	4	20	2,286	192	
昨 年	出動件数	3,481	32		2	147	33	11	574	4	24	2,458	192	4
	不搬送	182	13		1	12			11	1	6	127		11
	搬送人員	3,240	5			127	33	11	552	3	20	2,299	189	1

月 別 救 急 出 動

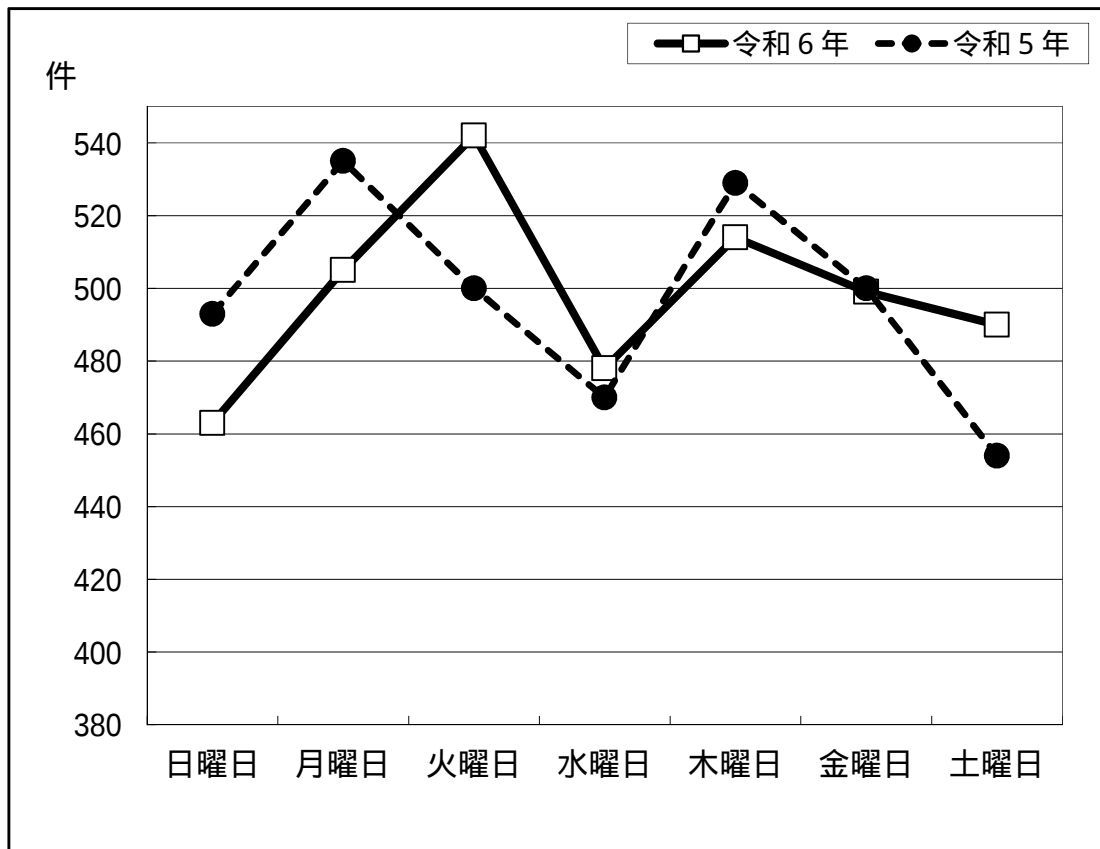
(令和6年中)



月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
合 計	令和6年	336	247	305	303	241	256	286	297	274	292	305	349	3,491
	令和5年	325	222	253	245	261	239	283	481	315	327	237	293	3,481
急 病	令和6年	232	168	216	209	172	174	217	230	187	193	203	248	2,449
	令和5年	229	152	177	161	178	159	212	373	217	213	172	215	2,458
交 通	令和6年	22	6	3	10	7	4	13	9	5	12	13	12	116
	令和5年	13	7	5	16	20	18	16	12	12	13	8	7	147
一 般	令和6年	60	51	61	52	38	46	37	36	56	62	64	69	632
	令和5年	56	45	44	42	45	30	37	68	56	66	39	46	574
そ の 他	令和6年	22	22	25	32	24	32	19	22	26	25	25	20	294
	令和5年	27	18	27	26	18	32	18	28	30	35	18	25	302

曜 日 別 救 急 出 動

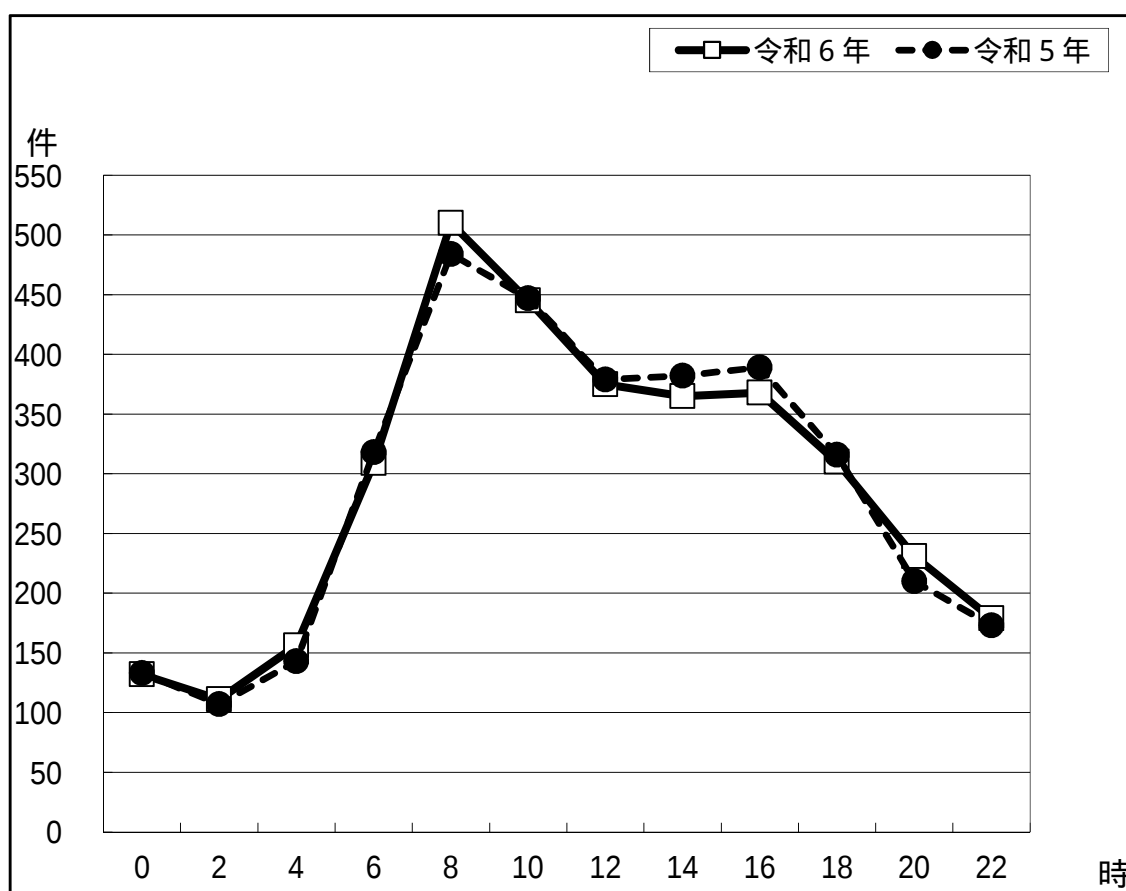
(令和6年中)



曜 日 別		日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計
合 計	令和6年	463	505	542	478	514	499	490	3,491
	令和5年	493	535	500	470	529	500	454	3,481
急 病	令和6年	324	369	376	337	353	346	344	2,449
	令和5年	373	367	347	326	359	352	334	2,458
交 通	令和6年	18	18	27	16	15	14	8	116
	令和5年	17	18	21	21	27	29	14	147
一 般	令和6年	102	74	87	85	91	83	110	632
	令和5年	73	92	81	77	96	78	77	574
そ の 他	令和6年	19	44	52	40	55	56	28	294
	令和5年	30	58	51	46	47	41	29	302

時間帯別救急出動状況

(令和6年中)



時間別		0 }	2 }	4 }	6 }	8 }	10 }	12 }	14 }	16 }	18 }	20 }	22 }	合計
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
合計	令和6年	132	111	156	309	510	445	375	365	368	310	231	179	3,491
	令和5年	133	107	143	318	484	447	379	382	389	316	210	173	3,481
急病	令和6年	97	94	127	226	352	266	260	231	245	229	181	141	2,449
	令和5年	108	84	113	230	319	293	254	241	267	243	171	135	2,458
交通	令和6年	1			17	15	21	8	18	22	10	2	2	116
	令和5年	2	1	3	18	19	21	15	18	24	19	4	3	147
一般	令和6年	24	15	26	51	96	94	60	66	79	56	37	28	632
	令和5年	17	13	21	61	103	84	59	61	62	41	25	27	574
その他	令和6年	10	2	3	15	47	64	47	50	22	15	11	8	294
	令和5年	6	9	6	9	43	49	51	62	36	13	10	8	302

救急隊員の行った応急処置件数

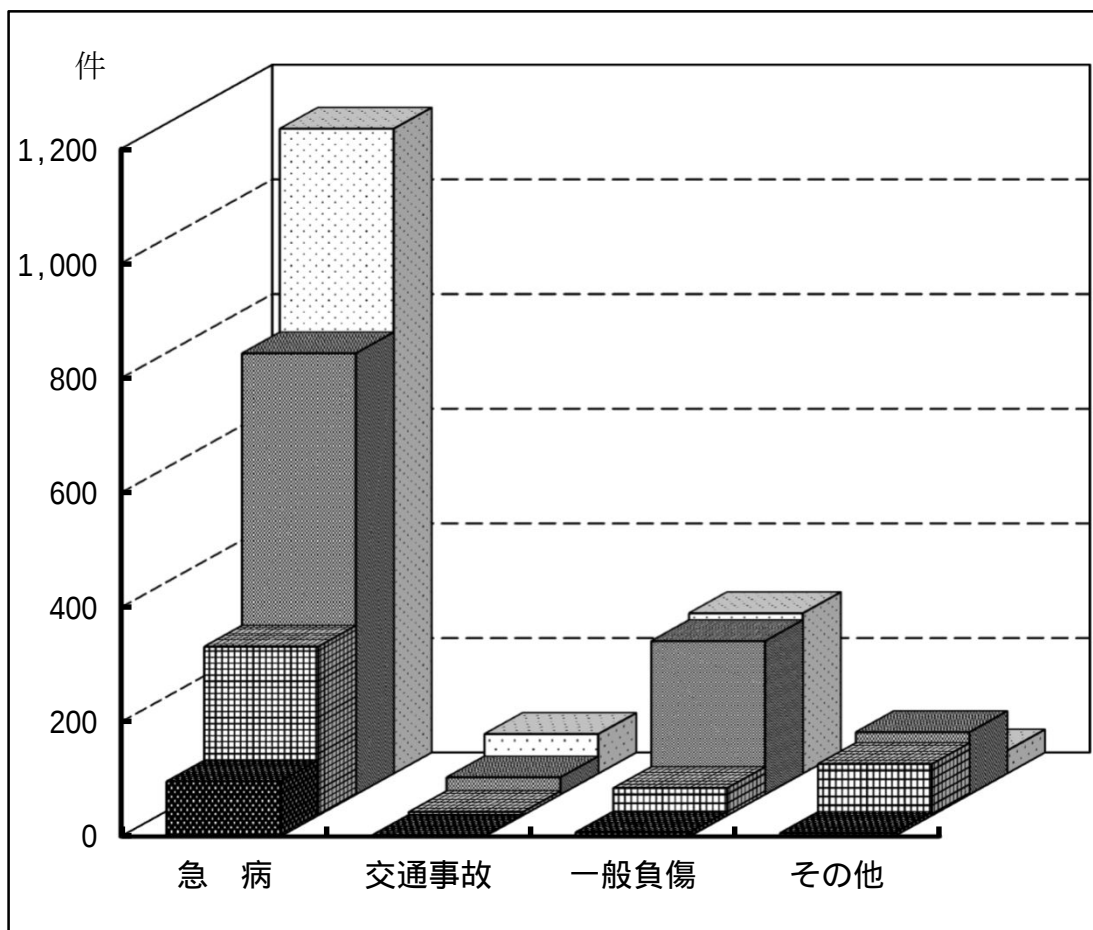
(令和6年中)

種別 応急処置	事故		急 病		交通事故		一般負傷		その他		合 計	
	6 年	5 年	6 年	5 年	6 年	5 年	6 年	5 年	6 年	5 年	6 年	5 年
応急処置対象人員	2,284	2,298	106	127	603	550	243	257	3,236	3,232		
止 血	8	13	8	7	65	59	5	11	86	90		
固 定	3	3	30	25	56	42	9	17	98	87		
人工呼吸	9	22					2	2	11	24		
心マッサージ		26		3				1		30		
うち自動		19		1						20		
心肺蘇生	90	121		1	8	4	6	5	104	131		
うち自動	82	80			7	3	4	3	93	86		
酸素吸入	343	454	9	4	26	22	76	74	454	554		
気道確保	104	131		1	8	3	8	5	120	140		
経鼻エアウェイ	2	2							2	2		
異物除去		2								2		
特定行為	16	18		1	1	1			17	20		
保 温	24	29	1		6	4	5	6	36	39		
被 覆	7	6	14	17	79	72	10	13	110	108		
在宅療法	27	32			1	4			28	36		
点 滴		3				1				4		
外ろう	4	9				1			4	10		
その他	23	20			1	2			24	22		
ショックパンツによる血圧保	0											
除細動	5	9					1		6	9		
その他の応急処置		4				1				5		
血糖測定	97	88	2		2				101	88		
静脈路確保 (CPA前)	11	19	1		1	1	3		16	20		
(CPA後)	37	53		2	2	1	4	1	43	57		
血圧測定	2,180	2,159	103	124	587	543	233	241	3,103	3,067		
聴診器による聴取	483	366	29	7	55	35	23	14	590	422		
血中酸素飽和度測定	2,189	2,174	106	125	595	548	232	248	3,122	3,095		
心電図	1,080	1,054	22	14	71	68	107	89	1,280	1,225		
合 計	6,697	6,763	325	330	1,562	1,407	724	727	9,308	9,227		

傷病程度別搬送人員の状況

(令和6年中)

事故種 別 傷病程度別	事故種別搬送人員				合 計
	急 病	交通事故	一般負傷	その他	
死 亡	96	1	7	6	110
重 症	295	6	48	90	439
中等症	770	30	268	109	1,177
軽 症	1,125	69	280	40	1,514
その他					
合 計	2,286	106	603	245	3,240



■ 死 亡 □ 重 症 ■ 中等症 □ 軽 症

医療機関別救急搬送状況

(令和6年中)

医 療 機 関 名	搬送人員	男 性	女 性	救急告示	市町別
大館市立総合病院	2,717	1413	1304	有	大館市
秋田労災病院	322	111	211	有	大館市
大館市立扇田病院	107	59	48	無	大館市
大館記念病院	3	1	2	無	大館市
今井病院				無	大館市
D r . ヘリ管内中継地	2	2		—	大館市
北秋田市民病院	9	4	5	有	北秋田市
かづの厚生病院	3		3	有	鹿角市
能代厚生医療センター	3	1	2	有	能代市
秋田大学医学部附属病院	6	4	2	有	秋田市
秋田赤十字病院	4		4	有	秋田市
循環器・脳脊髄センター	1		1	有	秋田市
市立秋田総合病院				有	秋田市
弘前大学医学部附属病院	57	35	22	有	弘前市
弘前中央病院	3	2	1	有	弘前市
管外：その他	3	1	2	—	—
合 計	3,240	1,633	1,607		

救 助 出 動 状 況

単位:人

令和6年中

区 分		総数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	その他 の事故
			建物	建物以外								
出 動 件 数		41	4		16	1		2	9	1		8
出 動 人 員	総 数	612	89		237	16		39	112	12		107
	救 助 隊 員	136			62	4		7	34	4		25
	消 防 隊 員	316	71		105	9		26	48	5		52
	救 急 隊 員	160	18		70	3		6	30	3		30
活 動 人 員	総 数	143	12		53			6	27			45
	救 助 隊 員	32			18				6			8
	消 防 隊 員	44	12		9			3	3			17
	救 急 隊 員	67			26			3	18			20

※ 「火災」とは消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいうものである。

救 助 活 動 状 況

単位:件

令和6年中

区 分		総数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	その他 の事故
			建物	建物以外								
活 動 件 数		24	4		7			1	6			6
屋 内	住 宅	9	4						3			2
	そ の 他 屋 内	2							2			
屋 外	道 路	高速道・国道	2		2							
		そ の 他	5		5							
	水 面	内 水 面										
		外 水 面	1									1
	そ の 他 屋 外		5					1	1			3
地 下												
そ の 他												
救 助 人 員 (人)		26	5		8			1	6			6

※ 「火災」とは消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいうものである。

天気・平均気温・平均風速・降雨量・降雪量（過去10年間）

（平成27年～令和6年）

	区 分	天 気							平均	平均	降雨量	降雪量
		快晴	晴	曇	雨	雪	霧	みぞれ	気温	風速		
年 別	日 数								()	(m/s)	(mm)	(cm)
平成27	365	25	123	142	40	27	0	0	10.7	2.4	949.5	442.0
平成28	366	21	119	150	39	34	0	0	10.0	2.3	1,240.0	338.0
平成29	365	11	132	131	45	42	0	0	9.5	2.2	1,340.9	465.0
平成30	365	5	139	137	48	32	3	1	10.1	2.3	1,391.0	446.0
令和元	365	19	151	133	31	31	0	0	10.4	2.4	800.0	292.0
令和2	366	7	132	141	61	24	1	0	10.6	2.2	1,279.0	448.0
令和3	365	17	150	120	48	30	0	0	10.6	2.3	1,192.5	462.0
令和4	365	7	158	136	35	29	0	0	10.5	2.2	1,441.5	405.0
令和5	365	10	143	136	47	27	2	0	11.5	2.2	1,384.0	197.0
令和6	366	8	140	162	32	23	0	1	11.4	2.2	1,051.5	486.0

天気は毎朝9時観測

初雪・最高・最低気温（過去10年間）

（平成27年～令和6年）

初 雪		最 高 気 温		最 低 気 温	
年 月 日	時 刻	年 月 日		年 月 日	
H27.11.29	11:30	H27.8.9	38.3	H27.1.25	-14.4
H28.11.9	9:00	H28.8.7	36.6	H28.2.7	-10.8
H29.11.16	9:00	H29.8.6	34.5	H29.1.15	-10.7
H30.11.23	8:00	H30.8.23	36.7	H30.2.2	-12.7
R1.11.14	2:00	R1.8.15	36.1	H31.1.25	-14.5
R2.11.9	5:00	R2.8.27	35.8	R2.1.25	-11.4
R3.11.24	1:00	R3.8.7	37.4	R3.1.6	-13.9
R4.11.30	18:00	R4.7.29	33.3	R4.1.1	-12.7
R5.11.23	9:00	R5.8.9	37.4	R5.1.30	-13.3
R6.11.19	9:00	R6.8.16	34.3	R6.11.19	-11.0
M33.1.0	5:15	S50.9.3	40.0	S60.1.4	-18.1

最下欄は、気象観測を実施してからの記録を示す。

警

防

消防水利の状況

令和7年4月1日現在

地域別			総 数		大 館		比 内		田 代	
			公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設
水利種別										
総 数			2,096		1,462		290		344	
			2,038	58	1,408	54	288	2	342	2
消 火 栓			1,520		1,069		190		261	
			1,517	3	1,067	2	189	1	261	
	150mm未満	その他	561		388		46		127	
			560	1	388		45	1	127	
		水利基準	466		352		58		56	
			464	2	350	2	58		56	
	150mm以上		493		329		86		78	
			493	0	329	0	86		78	
防火水槽			549		369		97		83	
			495	54	318	51	96	1	81	2
容量	20m³未満	3						3		
		3	0					3		
	20m³以上40m³未満	49		44		3		2		
		48	1	43	1	3		2		
	40m³以上100m³未満	496		324		94		78		
		443	53	274	50	93	1	76	2	
	100m³以上		1		1					
			1	0	1					
打込式消火栓			27		24		3			
			26	1	23	1	3			

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

令和7年4月1日現在

所属	名 称	シャシー 種 別	ポ ン プ 種 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月	備 考
本 署	梯子付消防自動車	日 産		8	400	H15	H15.2	地上高 36m
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野		6	330	H11	H11.2	積載水 10,000ℓ
	小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	56	H11	H11.2	水槽車積載
	救 助 工 作 車	い す ゞ		4	210	H30	H30.3	
	重機及び重機搬送車	三 菱		6	270	R2	R2.4	消防庁（貸与）
	水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	ドライケミカル	6	225	H13	H13.11	積載水 2,500ℓ
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	モ リ タ	4	150	H23	H23.4	CAFS装置装備 積載水 600ℓ
	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	29	H5	H5.9	ポンプ車積載
	指 令 車	ト ヨ タ		4	160	R3	R3.12	
	高規格救急自動車	ト ヨ タ		4	151	H24	H24.11	本署救急車
	非常用救急自動車	ト ヨ タ		4	151	H22	H22.1	旧北救急車
	資 器 材 搬 送 車	三 菱		4	140	H6	H6.12	非常備より所管替え
	広 報 1 号 車	ト ヨ タ		4	97	H23	H23.9	
	広 報 2 号 車	ト ヨ タ		10	151	H21	H21.10	
	連 絡 車	ト ヨ タ		4	99	H27	H27.5	
	連 絡 2 号 車	マ ッ ダ		4	101	H20	H20.8	防火協会（寄）
北 分 署	化学消防ポンプ自動車	日 野	モリタ	4	220	H31	H31.3	積載水 1,500ℓ 薬 液 500ℓ
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	ドライケミカル	4	150	H22	H22.1	
	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	29	H4	H4.11	ポンプ車積載
	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	29	H5	H5.9	R5年田代→北へ
	高規格救急自動車	ト ヨ タ		4	151	R5	R5.10	北救急車
比 内 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	長野ポンプ	4	150	R4	R4.2	積載水 1,500ℓ
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	長野ポンプ	4	150	R3	R3.2	積載水 1,500ℓ
	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	29	H6	H6.10	ポンプ車積載
	高規格救急自動車	ト ヨ タ		4	160	R3	R3.3	比内救急車
	広 報 車	日 産		4	113	R5	R5.3	
田 代 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	モリタ	4	220	R2	R2.2	積載水 2,000ℓ
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ	モリタ	4	150	R2	R2.2	
	小 型 動 力 ポ ン プ		シバウラ	1	12	R2	R2.2	ポンプ車積載
	広 報 車	ト ヨ タ		4	109	R2	R2.7	
	高規格救急自動車	ト ヨ タ		4	160	R5	R5.2	田代救急車

消 防 車 両 等 保 有 台 数 状 況

令和7年4月1日現在

名 称	消 防 署
梯子付消防自動車	1 台
小型動力ポンプ付水槽車	1 台
救 助 工 作 車	1 台
重機及び重機搬送車	1 台
化学消防ポンプ自動車	1 台
水槽付消防ポンプ自動車	2 台
消 防 ポ ン プ 自 動 車	5 台
指 令 車	1 台
高規格救急自動車	4 台
非常用救急自動車	1 台
資 機 材 搬 送 車	1 台
広 報 車	4 台
連 絡 車	1 台
連 絡 2 号 車	1 台
合 計	2 5 台

小 型 動 力 ポ ン プ 保 有 台 数 状 況

名 称	消 防 署
小 型 動 力 ポ ン プ	5 台

消 防 車 両 等 使 用 経 過 年 数 状 況

年 数	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計
梯子付消防自動車								1	1
小型動力ポンプ付水槽車								1	1
救 助 工 作 車						1			1
重機及び重機搬送車						1			1
化学消防ポンプ自動車						1			1
水槽付消防ポンプ自動車						1		1	2
消 防 ポ ン プ 自 動 車				1	1	1	1	1	5
指 令 車				1					1
高規格救急自動車		1	1		1		1		4
非常用救急自動車								1	1
資 機 材 搬 送 車								1	1
広 報 車			1		1		1	1	4
連 絡 車						1			1
連 絡 2 号 車								1	1
合 計	0	1	2	2	3	6	3	8	25

小 型 動 力 ポ ン プ 使 用 経 過 年 数 状 況

年 数	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計
小 型 動 力 ポ ン プ						1		4	5

特殊器具現有状況

令和7年4月1日現在

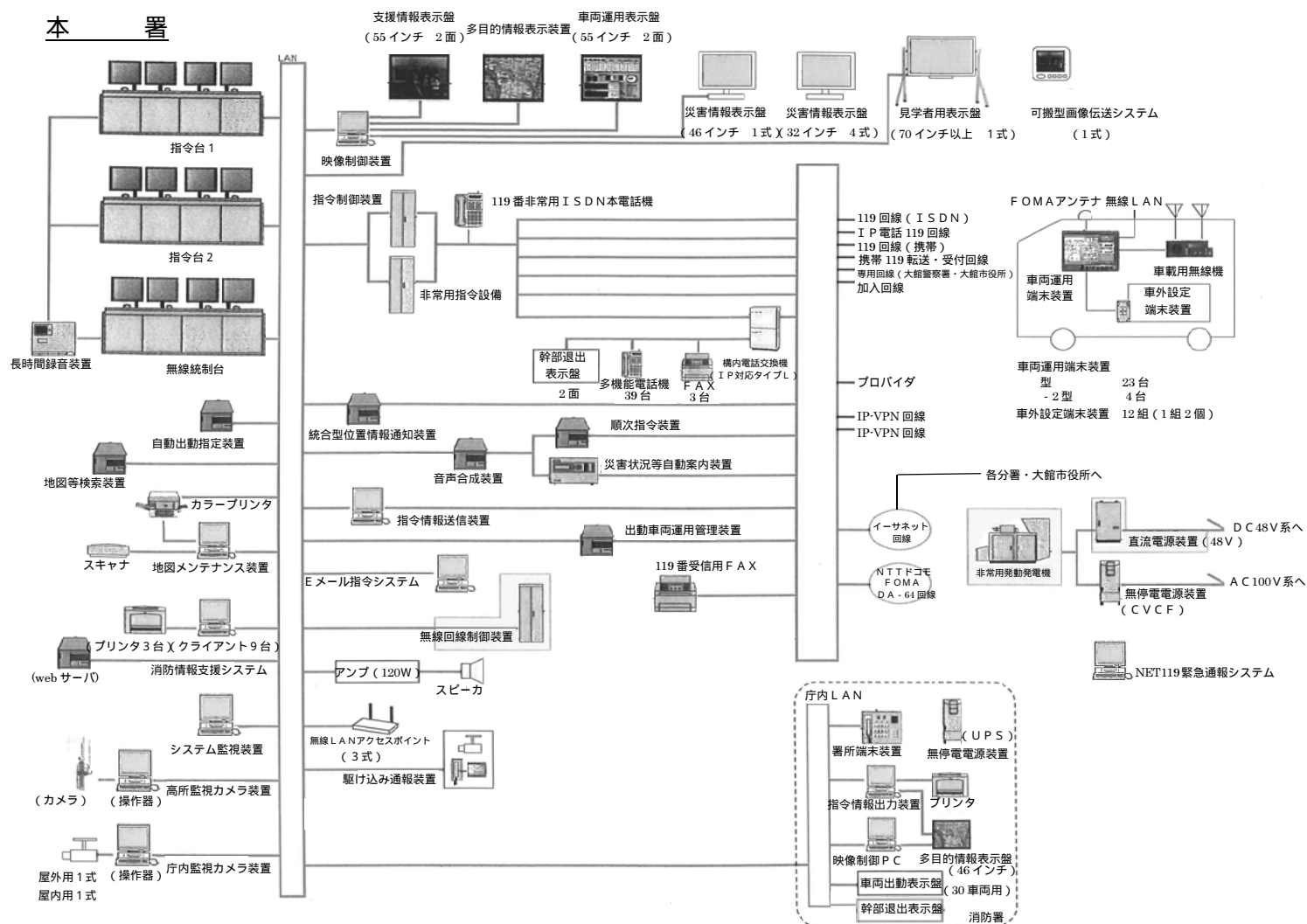
	区 分	総 数	本 署	北 分 署	比内分署	田代分署
放水器具	放水銃	2	1	1		
	発泡管鎗	7	4	2	1	
一般救助器具	かぎ付きはしご	3	3			
	三連はしご	9	5	1	2	1
	救助マット	1	1			
	救命索発射銃	1	1			
	救助用縛帯	7	6	1		
	マンホール救助器具	2	1	1		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	13	7	3	2	1
	可搬ウインチ	2	1	1		
	マット型空気ジャッキ	3	1	2		
	電動油圧コンビツール	4	1	1	1	1
	大型油圧スプレッター	2	1	1		
	救助用支柱器具	1	1			
切断用器具	エンジンカッター	9	4	2	2	1
	ガス溶断機	1	0(酸素1)	1		
	チェーンソー	12	6	2	2	2
	鉄線カッター	10	4	2	2	2
	空気鋸	2	1	1		
	大型油圧切断機	2	1	1		
	ペダルカッター	1	1			
破壊用器具	万能斧	14	8	2	3	1
	ハンマ	8	3	3	1	1
	削岩機	1	1			
	ハンマードリル	2	1	1		
測定用器具	有毒ガス測定器	1	1			
	酸素濃度測定器	3	3			
	複合型ガス測定器	3	2	1		
	放射線測定器	9	9			
呼吸保護用具	空気呼吸器	39	19	6	6	8
	酸素呼吸器	5	5			
	送排風機	1	1			
隊員保護用具	耐電手袋	10	7	1	1	1
	耐電衣	9	7	2		
	耐電ズボン	9	7	2		
	耐電長靴	9	7	2		
	化学防護服	20	20			
	耐熱服	2	2			
	放射線防護服	2	2			
	携帯警報機	5	5			
水難救助用具	潜水器具	11	11			
	救命胴衣	94	41	19	19	15
	水中投光器	12	12			
	救命浮環	18	14		2	2
	流水救助器具	3	3			
	救命ボート	10	4	1	3	2
その他救助器 の 他用具	船外機	3	3			
	山岳救助器具	6	3	1	1	1
	ファイバースコープ	1	1			
	除染テント	1	1			
	投光器	12	9	2		1
	携帯拡声器	12	7	2	2	1
	応急処置用セット	8	3	2	2	1
	ロープ用登降器	4	4			
	救助用降下器	22	22			
	緩降機	3	3			
	車両移動器具	4	4			
	発電機	23	14	3	3	3

消防緊急通信指令施設の概要

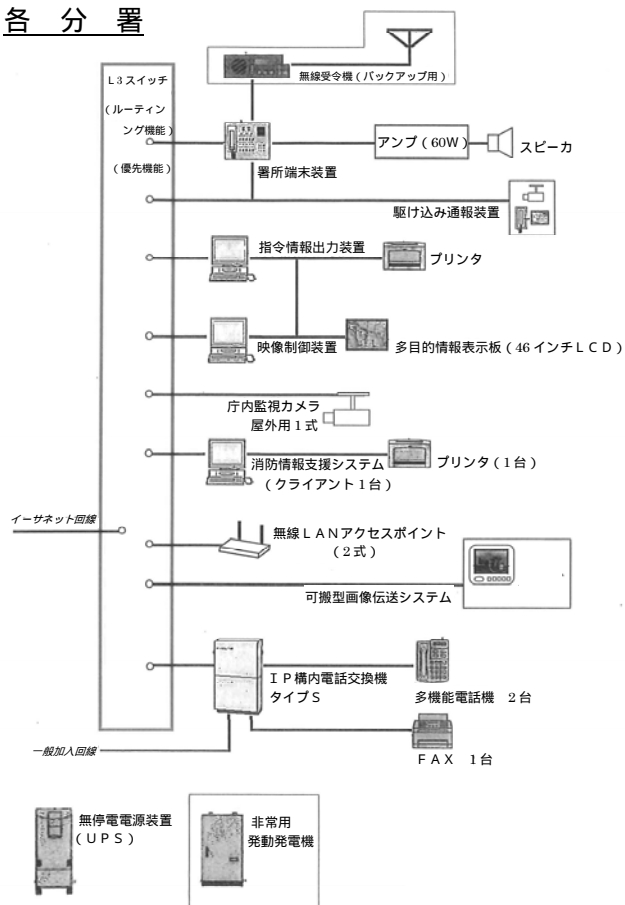
平成27年3月から運用開始

装置名		高機能型消防指令装置	
指 令 装 置	指令台	2台	4画面構成（支援・自動・地図1・地図2） 23インチ以上ワイド液晶モニター 録音時間＝2000時間以上（16CH） 自動切替方式、完全2重化以上 指令制御装置内に機能含有 LP-S5300 DS-50000 デジタル無線受令機と連動
	自動出動指令装置	1式	
	地図等検索装置	1式	
	支援情報用ディスプレイ	2台	
	長時間録音装置	1式	
	指令制御装置	1式	
	非常用指令設備	1式	
	携帯電話・IP電話受信転送装置	1式	
	プリンタ	1台	
	スキャナ	1台	
	署所端末装置	5台	
表 示 盤	車両運用表示盤	1式	自立型55インチ以上液晶2面 自立型55インチ以上液晶2面 自立型55インチ以上液晶4面 46インチ以上液晶 8面マルチ表示 46インチ以上液晶 32インチ以上液晶 30車両表示 70インチ以上液晶
	支援情報表示盤	1式	
	多目的情報表示装置	1式	
	多目的情報表示盤	5式	
	映像制御装置	1式	
	災害情報表示盤	1式	
	災害情報表示盤	4式	
	車両出動表示盤	1面	
	見学者用表示盤	1式	
無線統制台		1式	指令台と同機能・同構成
指 令 伝 送 装 置	指令情報送信装置	1式	事案情報・地図の送出 ネットワーク装置含む
	指令情報出力装置	2式	
	指令情報出力装置	4式	
災害状況等自動案内装置		1台	TS-400
順次指令装置		1式	ARS-800F
音声合成装置		1式	
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置	管理装置	1式	自動出動指定装置と連動 ネットワーク対応型、収容BOX含む
	車両運用端末装置（型）	23台	
	車両運用端末装置（型-2型）	4台	
	車外設定端末装置	12組	
	無線LANアクセスポイント	9式	
システム監視装置		1式	
電源設備（100V系）		1式	停電保証時間10分以上、分散CVCF
統合型位置情報通知装置		1式	指令との連動型
駆け込み通報装置		4式	
消防用高所監視装置		1式	
庁 内 監 視 カ メ ラ 装 置	屋外用	5式	
	屋内用	1式	
	監視カメラ制御装置	1式	
構 内 自 動 電 話 交 換 装 置	構内電話交換機（タイプL）	1式	MFC-L2720DN
	構内電話交換機（タイプS）	3式	
	多機能電話機	46台	
	FAX	6式	
	幹部出退表示盤	2面	
放 送 設 備	アンプ	1台	壁掛け型、出力120W以上 卓上型、出力60W以上 トランペット型、5W 壁掛け型、3W 天井型、3W
	アンプ	3台	
	スピーカ	12台	
	スピーカ	14台	
	スピーカ	27台	
消 防 情 報 支 援 シ ス テ ム	WEBサーバー	1式	データ管理用 LP-S3500
	クライアント	12台	
	プリンタ	6台	
NET119緊急通報システム		1式	
Eメール指令システム		1式	指令と連動
119番通報受信用FAX		1式	統合型位置情報通知装置と連動型
可搬型画像伝送システム		3式	
配 線 架		1架	

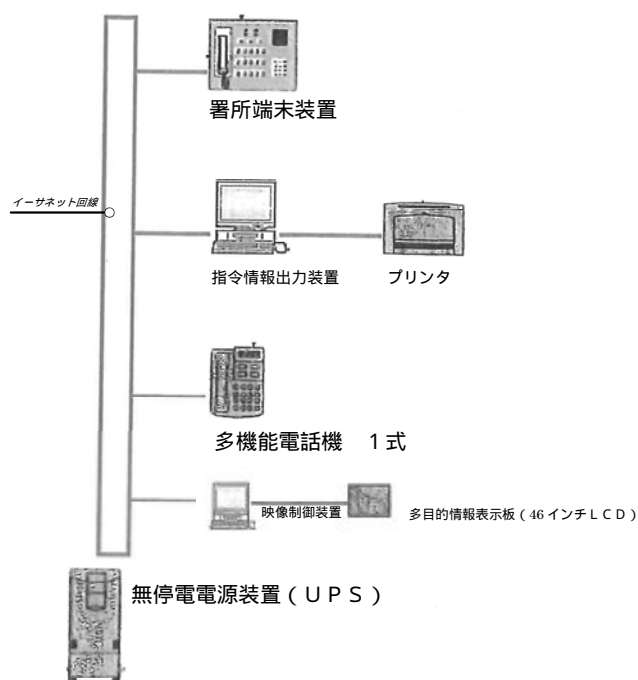
令和7年4月1日



各 分 署



大館市役所



デ ジ タ ル 無 線 設 備 状 況

令和7年4月1日現在

免	台	識 別 信 号	無線局種別	配置年	電力	免 許 番 号	活1	活2	主運	統1	統2	統3
1	1	しょうぼうおおだてじゅうにしょ	基地局	H26/03	10W	東基第 152040号	**	○	**	**	**	**
2	2	しょうぼうおおだてゆきさわ	基地局	H26/03	10W	東基第 152041号	**	○	**	**	**	**
3	3	しょうぼうおおだてじんば	基地局	H26/03	10W	東基第 152042号	**	○	**	**	**	**
4	4	しょうぼうおおだておおくぞ	基地局	H26/03	10W	東基第 152043号	**	○	**	**	**	**
5	5	しょうぼうおおだてこしやま	基地局	H26/03	10W	東基第 152044号	**	○	**	**	**	**
6	6	しょうぼうおおだてふかたい	基地局	H26/03	10W	東基第 152045号	**	○	**	**	**	**
7	7	おおしげないとんねるだいいち	基地局	H26/03	10W	東基第 152046号	**	**	○	**	**	**
8	8	おおしげないとんねるだいに	基地局	H26/03	10W	東基第 152047号	**	**	○	**	**	**
9	9	ゆきさわとんねるだいいち	基地局	H26/03	10W	東基第 152048号	**	**	○	**	**	**
10	10	ゆきさわとんねるだいに	基地局	H26/03	10W	東基第 152049号	**	**	○	**	**	**
11	11	しょうぼうおおだて	基地局	H23/06	10W	東基第 6537号	○	○	○	○	○	○
12	12	しょうぼうおおだて 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139114号	○	○	○	○	○	○
13	13 ~14	おおだてしき 1~2	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139118号 ~ 東移第10139119号	○	○	○	○	○	○
14	15 ~25	おおだて 10~20	陸上移動局	H26/03	5W	東移第10139094号 ~ 東移第10139104号	○	○	○	○	○	○
15	26	おおだてタンク 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139120号	○	○	○	○	○	○
16	27	おおだてポンプ 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139121号	○	○	○	○	○	○
17	28	おおだてはしご 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139128号	○	○	○	○	○	○
18	29	おおだてかがく 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139129号	○	○	○	○	○	○
19	30	おおだてきゅうきゅう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139131号	○	○	○	○	○	○
20	31	おおだてすいそう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139130号	○	○	○	○	○	○
21	32	おおだてきゅうじょ 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139135号	○	○	○	○	○	○
22	33	おおだてしれい 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139136号	○	○	○	○	○	○
23	34 ~35	おおだてしゅれん 1~2	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139145号 ~ 東移第10139146号	○	○	○	○	○	○
24	36 ~37	おおだてだん 1~2	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139143号 ~ 東移第10139144号	○	○	○	○	○	○
25	38 ~39	おおだてこうほう 1~2	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139138号 ~ 東移第10139139号	○	○	○	○	○	○
26	40	おおだてしざい 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139137号	○	○	○	○	○	○
27	41	おおだてじゅうきはんそう 1	陸上移動局	R2/03	10W	東移第10182628号	○	○	○	○	○	○
28	42 ~44	おおだて 30~32	陸上移動局	H26/03	5W	東移第10139105号 ~ 東移第10139107号	○	○	○	○	○	○
29	45	しょうぼうきた 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139115号	○	○	○	○	○	○
30	46	きたタンク 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139122号	○	○	○	○	○	○
31	47	きたポンプ 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139123号	○	○	○	○	○	○
32	48	きたきゅうきゅう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139132号	○	○	○	○	○	○
33	49	きたこうほう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139140号	○	○	○	○	○	○
34	50 ~52	おおだて 40~42	陸上移動局	H26/03	5W	東移第10139108号 ~ 東移第10139110号	○	○	○	○	○	○
35	53	しょうぼうひない 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139116号	○	○	○	○	○	○
36	54	ひないタンク 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139124号	○	○	○	○	○	○
37	55	ひないポンプ 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139125号	○	○	○	○	○	○
38	56	ひないきゅうきゅう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139133号	○	○	○	○	○	○
39	57	ひないこうほう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139141号	○	○	○	○	○	○
40	58 ~60	おおだて 50~52	陸上移動局	H26/03	5W	東移第10139111号 ~ 東移第10139113号	○	○	○	○	○	○
41	61	しょうぼうたしろ 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139117号	○	○	○	○	○	○
42	62	たしろタンク 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139126号	○	○	○	○	○	○
43	63	たしろポンプ 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139127号	○	○	○	○	○	○
44	64	たしろきゅうきゅう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139134号	○	○	○	○	○	○
45	65	たしろこうほう 1	陸上移動局	H26/03	10W	東移第10139142号	○	○	○	○	○	○
46	66 ~75	おおだて 60~69	陸上移動局	H27/05	5W	東移第10148023号 ~ 東移第10148032号	○	○	○	○	○	○

局免状数		無線機器台数	
基地局	11局	基地局	11台
陸上移動局	35局	車載型陸上移動局	28台
		携帯型陸上移動局	30台
		可搬型陸上移動局	2台
		卓上型固定移動局	4台
免状総数	46局	無線局総数台数	75台

機器台数と無線局免状数に違いがあるのは、複数の機器に対して、免状が1枚で交付されている機器があるためです。

署 活 無 線 設 備 状 況
【 4 6 局 】

令和7年4月1日

No	識別信号	配置先	配置場所
1	しゃかつ1	本署	指令車
2	しゃかつ2	本署	指令車
3	しゃかつ3	本署	指令車
4	しゃかつ4	本署	指令車
5	しゃかつ5	本署	
6	しゃかつ6	本署	
7	しゃかつ7	本署	
8	しゃかつ11	本署	本署タンク車
9	しゃかつ12	本署	本署タンク車
10	しゃかつ13	本署	本署タンク車
11	しゃかつ14	本署	予備
12	しゃかつ21	本署	本署ポンプ車
13	しゃかつ22	本署	本署ポンプ車
14	しゃかつ23	本署	本署ポンプ車
15	しゃかつ24	本署	予備
16	しゃかつ31	本署	水槽車
17	しゃかつ32	本署	水槽車
18	しゃかつ51	本署	救助工作車
19	しゃかつ52	本署	救助工作車
20	しゃかつ53	本署	救助工作車
21	しゃかつ54	本署	予備
22	しゃかつ61	本署	本署救急車
23	しゃかつ62	本署	本署救急車
24	しゃかつ63	本署	本署救急車
25	しゃかつ64	田代分署	田代救急車
26	しゃかつ65	北分署	北救急車
27	しゃかつ66	比内分署	比内救急車
28	しゃかつ67	本署	通信指令室
29	しゃかつ北11	北分署	北タンク車
30	しゃかつ北12	北分署	北タンク車
31	しゃかつ北13	北分署	北タンク車
32	しゃかつ北21	北分署	北ポンプ車
33	しゃかつ北22	北分署	北ポンプ車
34	しゃかつ北23	北分署	北ポンプ車
35	しゃかつ比内11	比内分署	比内タンク車
36	しゃかつ比内12	比内分署	比内タンク車
37	しゃかつ比内13	比内分署	比内タンク車
38	しゃかつ比内21	比内分署	比内ポンプ車
39	しゃかつ比内22	比内分署	比内ポンプ車
40	しゃかつ比内23	比内分署	比内ポンプ車
41	しゃかつ田代11	田代分署	田代タンク車
42	しゃかつ田代12	田代分署	田代タンク車
43	しゃかつ田代13	田代分署	田代タンク車
44	しゃかつ田代21	田代分署	田代ポンプ車
45	しゃかつ田代22	田代分署	田代ポンプ車
46	しゃかつ田代23	田代分署	田代ポンプ車

防 爆 無 線 設 備 状 況
【 5 局 】

令和7年4月1日

No	識別信号	配置先	配置場所
1	おおだて101	本署	通信指令室
2	おおだて102	本署	通信指令室
3	おおだて103	本署	通信指令室
4	おおだて104	本署	通信指令室
5	おおだて105	本署	通信指令室

消 防 団 無 線 設 備 状 況
【 8 4 局 】

令和7年4月1日

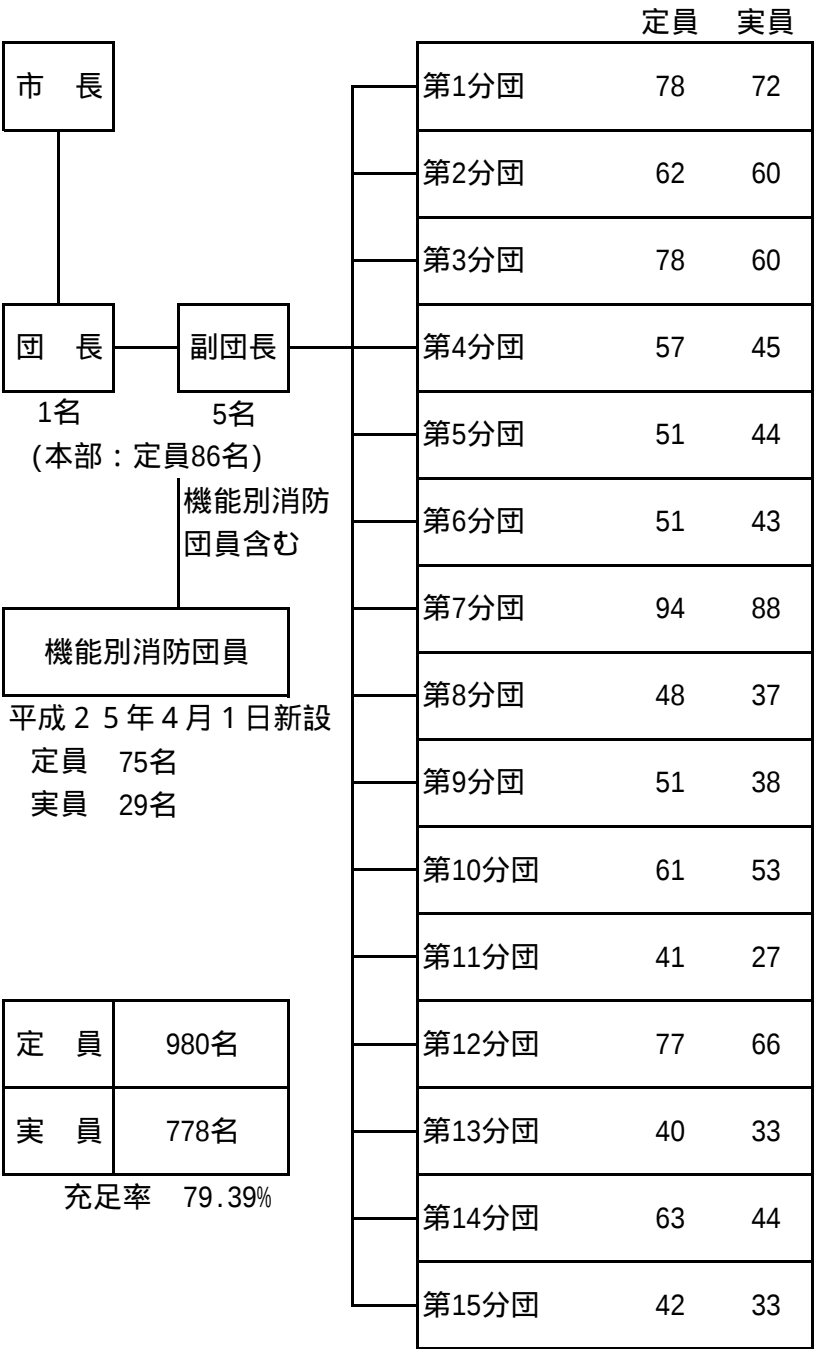
No	識別信号	配置先	配置場所
1	だんちよう1	団長	団長
2	ふくだん1	副団長	副団長
3	ふくだん2	副団長	副団長
4	ふくだん3	副団長	副団長
5	ふくだん4	副団長	副団長
6	ふくだん5	副団長	副団長
7	ふくだん6	副団長	副団長
8	ぶんだんちよう1	第1分団長	
9	ぶんだんちよう2	第2分団長	
10	ぶんだんちよう3	第3分団長	
11	ぶんだんちよう4	第4分団長	
12	ぶんだんちよう5	第5分団長	

13	ぶんだんちよう6	第6分団長	
14	ぶんだんちよう7	第7分団長	
15	ぶんだんちよう8	第8分団長	
16	ぶんだんちよう9	第9分団長	
17	ぶんだんちよう10	第10分団長	
18	ぶんだんちよう11	第11分団長	
19	ぶんだんちよう12	第12分団長	
20	ぶんだんちよう13	第13分団長	
21	ぶんだんちよう14	第14分団長	
22	ぶんだんちよう15	第15分団長	
23	ぶんだんちよう1の1	第1副分団長	旧大館1分団
24	ぶんだんちよう1の3	第1副分団長	旧大館3分団
25	ぶんだんちよう1の11	第1副分団長	旧大館11分団
26	ぶんだんちよう1の12	第1副分団長	旧大館12分団
27	ぶんだんちよう2の2	第2副分団長	旧大館2分団
28	ぶんだんちよう2の9	第2副分団長	旧大館9分団
29	ぶんだんちよう2の10	第2副分団長	旧大館10分団
30	ぶんだんちよう3の4	第3副分団長	旧大館4分団
31	ぶんだんちよう3の7	第3副分団長	旧大館7分団
32	ぶんだんちよう3の8	第3副分団長	旧大館8分団
33	ぶんだんちよう4の5	第4副分団長	旧大館5分団
34	ぶんだんちよう4の6	第4副分団長	旧大館6分団
35	ぶんだんちよう5の13	第5副分団長	旧大館13分団
36	ぶんだんちよう5の14	第5副分団長	旧大館14分団
37	ぶんだんちよう6の15	第6副分団長	旧大館15分団
38	ぶんだんちよう6の16	第6副分団長	旧大館16分団
39	ぶんだんちよう7の17	第7副分団長	旧大館17分団
40	ぶんだんちよう7の18	第7副分団長	旧大館18分団
41	ぶんだんちよう8の19	第8副分団長	旧大館19分団
42	ぶんだんちよう8の20	第8副分団長	旧大館20分団
43	ぶんだんちよう8の21	第8副分団長	旧大館21分団
44	ぶんだんちよう9の22	第9副分団長	旧大館22分団
45	ぶんだんちよう9の23	第9副分団長	旧大館23分団
46	ぶんだんちよう9の24	第9副分団長	旧大館24分団
47	ぶんだんちよう10の1	第10副分団長	旧比内1分団
48	ぶんだんちよう10の2	第10副分団長	旧比内2分団
49	ぶんだんちよう11の3	第11副分団長	旧比内3分団
50	ぶんだんちよう11の6	第11副分団長	旧比内6分団
51	ぶんだんちよう12の4	第12副分団長	旧比内4分団
52	ぶんだんちよう12の5	第12副分団長	旧比内5分団
53	ぶんだんちよう13の1	第13副分団長	旧田代1分団
54	ぶんだんちよう13の4	第13副分団長	旧田代4分団
55	ぶんだんちよう13の5	第13副分団長	旧田代5分団
56	ぶんだんちよう13の6	第13副分団長	旧田代6分団
57	ぶんだんちよう14の2	第14副分団長	旧田代2分団
58	ぶんだんちよう14の3	第14副分団長	旧田代3分団
59	ぶんだんちよう14の7	第14副分団長	旧田代7分団
60	ぶんだんちよう14の8	第14副分団長	旧田代8分団
61	ぶんだんちよう15の25	第15副分団長	旧大館25分団
62	ぶんだんちよう15の26	第15副分団長	旧大館26分団
63	だんぼんぶ2	第2分団	旧大館2分団
64	だんけいせきさい18	第3分団	旧大館8分団
65	だんぼんぶ5	第4分団	旧大館5分団
66	だんぼんぶ13	第5分団	旧大館13分団
67	だんけいせきさい117	第7分団	旧大館17分団
68	だんけいせきさい121	第8分団	旧大館21分団
69	だんぼんぶ24	第9分団	旧大館24分団
70	だんぼんぶひない3	第11分団	旧比内3分団
71	だんけいせきさいひない15	第12分団	旧比内5分団
72	だんけいせきさいひない16	第11分団	旧比内6分団
73	だんぼんぶたしろ2	第14分団	旧田代2分団
74	だんぼんぶひない14	第12分団	旧比内4分団
75	だんけいせきさい114	第5分団	旧大館14分団
76	だんしき1	本署	指令車
77	だんたんく1	本署	本署タンク車
78	だんぶんしよ1	北分署	北分署
79	だんぶんしよ2	比内分署	比内分署
80	だんぶんしよ3	田代分署	田代分署
81	だんぼんぶ1	本部	本部
82	だんぼんぶ2	本部	本部
83	だんぼんぶ3	本部	本部
84	だんぼんぶ4	本部	通信指令室

管内消防団

大館市消防団の組織

令和7年4月1日現在



定員	980名
実員	778名
充足率 79.39%	

階級別	定員	実員
団長	1	1
副団長	6	5
分団長	16	15
副分団長	41	39
部長	110	108
班長	112	107
団員	694	503
合計	980	778

管内歴代消防団長

○ 大館市

歴 代	氏 名	就 任	退 任	備 考
初 代	山 田 健 治	S22. 5. 1	S24. 9.16	大館市消防団
二 代	渡 部 綱 次	S24. 9.17	S44. 3.31	
三 代	太田部 武 蔵	S44. 4. 1	S46. 3.31	
四 代	伊 藤 菊 男	S46. 4. 1	S62. 6.31	
五 代	蒔 苗 進	S62. 7. 1	H14.12.16	
六 代	戸 田 達 雄	H14.12.20	H17. 6.14	
七 代	成 田 十喜男	H17. 6.15	H17. 6.19	市町合併により
		H17. 6.20	H20. 3.31	大館市大館消防団

○ 旧比内町

初 代	矢 本 健次郎	S30. 3.30	S36. 3.31	比内町消防団
二 代	殿 村 吉太郎	S36. 4. 1	S44. 3.31	
三 代	乳 井 春 生	S44. 4. 1	S51. 3.31	
四 代	岩 崎 英 一	S51. 4. 1	S57. 3.31	
五 代	長谷部 勲	S57. 4. 1	S63. 3.31	
六 代	渡 邊 昭二郎	S63. 4. 1	H 4. 3.31	
七 代	高 松 貞 夫	H 4. 4. 1	H14. 3.31	
八 代	小 松 永 悦	H14. 4. 1	H17. 6.19	市町合併により
		H17. 6.20	H20. 3.31	大館市比内消防団

○ 旧田代町

初 代	片 岡 忠 一	S31. 1. 1	S31.12.31	田代町消防団
二 代	五十嵐 貞 一	S32. 1. 1	S37.12.31	
三 代	幸 坂 正 男	S38. 1. 1	S43.12.31	
四 代	松 坂 定 吉	S44. 1. 1	S46. 3.31	
五 代	工 藤 仙 吉	S46. 4. 1	S54. 3.31	
六 代	田 村 六 郎	S54. 4. 1	S60. 1.18	
七 代	高 坂 儀 悦	S60. 1.19	H 2. 5.31	
八 代	片 岡 勇 治	H 2. 6. 1	H 5. 5.31	
九 代	高 橋 正 光	H 5. 6. 1	H14. 5.31	
十 代	佐 藤 禮 造	H14. 6. 1	H17. 6.19	市町合併により
		H17. 6.20	H20. 3.31	大館市田代消防団

大館市消防団（H20.4.1から3団統合）

歴 代	氏 名	就 任	退 任	備 考
初 代	成 田 十喜男	H20. 4. 1	H29. 3.31	
二 代	齋 藤 勉	H29. 4. 1	R 5. 3.31	
三 代	武 田 博 康	R 5. 4. 1	現 在	

大館市消防団員在職年数

令和7年4月1日現在

勤続年数別 階級別	計	1年 未満	1年以 上5年 未満	5～ 9年	10～ 14年	15～ 19年	20～ 24年	25～ 29年	30年 以上
団 長	1								1
副 団 長	5								5
分 団 長	15						3	4	8
副分団長	39					2	4	8	25
部 長	108			2	9	11	31	34	21
班 長	107			3	16	29	37	13	9
団 員	503	24	70	117	105	104	43	24	16
合 計	778	24	70	122	130	146	118	83	85

大館市消防団員年齢構成

令和7年4月1日現在

在職年数別 階級別	計	20歳 未満	20～ 24年	25～ 29年	30～ 34年	35～ 39年	40～ 44年	45～ 49年	50～ 54年	55年 以上
団 長	1									1
副 団 長	5									5
分 団 長	15								1	14
副分団長	39							1	5	33
部 長	108				1		2	12	27	66
班 長	107			1	1	1	11	28	31	34
団 員	503	9	27	17	38	49	107	97	87	72
合 計	778	9	27	18	40	50	120	138	151	225

大館市消防団消防ポンプ自動車等配置状況

令和7年4月1日現在

所 属	所在地	種 別	シャシー 種 別	ポ ン プ 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月日	備 考
本 部	根下戸新町	団 連 絡 1 号 車	トヨタ		4	97	H28	H28.10	積載750kg
		防 災 活 動 車 (団連絡 2 号車)	スバル		4	109	H29	H29.12	
		防 災 活 動 車	三 菱		4	150	R5	R 5.2	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	27	H1	H 1.10	修理代替用
		"		シバウラ	2	31/40	H 9	H22.3	10分団独結より
		"		ラビット	2	38/46	H10	H30.2	11分団中野より
		"		シバウラ	2	31/40	H 8	H30.2	12分団谷地中より
		"		ラビット	2	34	H2	H30.12	14分団岩瀬より
		"		トーハツ	2	27	S60	R 2.3	3分団大明神より
		"		トーハツ	2	27	S58	R 2.3	3分団新沢より
		"		シバウラ	2	31/40	H8	R 2.4	11分団大渡より
		"		トーハツ	2	25	S54	R 4.3	8分団二井山より
		"		ラビット	2	28	S58	S58. 8	R6.3長面袋より
		"		ラビット	2	38/58	H20	H20. 5	R6.3羽立より
		"		ラビット	2	28	S57	R5.7	R7.3立花より
第 1 分団	東 台	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	6	130	H12	H12. 2	
	田 町	"	日 野	モ リ タ	4	150	R6	R 6.11	R 6 更新
	池 内	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	29	H4	H 4.11	
	根 下 戸	"		トーハツ	2	27	H5	H 5.10	
	舟 場	"		トーハツ	2	37	H7	H 7.10	
	餌 釣	積 載 車	スズキ		3	49	H25	H25.11	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	40.8	H25	H25.11	
	羽 立	"		トーハツ	2	32	H8	H 8.10	
第 2 分団	中 山	"		トーハツ	2	29	H3	H 3.10	
	常 盤 木 町	消防ポンプ自動車	日 野	モ リ タ	4	150	H28	H28. 3	
	片 山	小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	27	S63	S63. 8	
	餅 田	積 載 車	日 産		3		R7	R7.3	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	22kw	R7	R7.3	
	立 花	"		トーハツ	2	27	S63	S63. 8	R7.3餅田より
	川 口	積 載 車	三 菱		4	94	H10	H10.10	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	32	H10	H10.10	
	横 岩	"		ラビット	2	43	H23	H23. 6	

所 属	所在地	種 別	シャシー 種 別	ボ ン プ 種 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月日	備 考
第 3 分団	御成町一丁目	消防ポンプ自動車	いすゞ	ドライ ケミカル	4	130	H7	H 7.10	
	上 代 野	小型動力ポンプ		ラビット	2	29	H4	H 4.11	
	下 代 野	"		ラビット	2	28	S59	S59. 7	
	芦 田 子	"		ラビット	2	33	H14	H14.10	
	賽 ノ 神	"		トーハツ	2	40.8	H27	H27. 6	
	天 下 町	積 載 車	スズキ		3	49	H24	H24.11	軽自動車
		小型動力ポンプ		ラビット	2	33	H11	H11.10	
	小 茂 内	"		トーハツ	2	27	S57	S57. 8	
	茂 内 屋 敷	積 載 車	日 産		4	105	H13	H13. 9	
		小型動力ポンプ		トーハツ	2	29	H13	H13. 9	
	新 沢	積 載 車	スズキ		3	49	R2	R 2.3	軽自動車
		小型動力ポンプ		シバウラ	2	43	R2	R 2.3	
	石 淵	"		ラビット	2	38	H20	H20. 5	
	水 沢	"		トーハツ	2	27	S61	S61. 9	
	黒 沢	"		ラビット	2	32	H2	H 2. 7	
	二 ツ 屋	"		ラビット	2	26	S62	S62.11	
第 4 分団	釈 迦 内	消防ポンプ自動車	日 野	モリタ	4	150	H30	H30.11	
		小型動力ポンプ		シバウラ	2	31	S58	H30.11	4分団獅子ヶ森より
	松 木	"		トーハツ	2	58	H22	H22. 6	
	沼 館	"		トーハツ	2	40.8	H25	H25.11	
	小 釈 迦 内	"		ラビット	2	28	S57	S57. 8	
	獅 子 ヶ 森	"		トーハツ	2	28	H10	H30.11	4分団釈迦内より
	二ツ森	積 載 車	ダイハツ		3	46	R6	R6.3	軽自動車
		小型動力ポンプ		トーハツ	3	30	R6	R6.3	R5新規
	松 峰	"		ラビット	2	33	H13	H13. 9	
	商 人 留	"		ラビット	2	28	S58	S58. 8	
	長 面	"		トーハツ	2	40.8	H19	H19. 8	
第 5 分団	二 井 田	消防ポンプ自動車	日 野	モ リ タ	4	150	H28	H28.12	
	四 羽 出	小型動力ポンプ		ラビット	2	63	H24	H24. 7	
	下 川 原	"		シバウラ	2	31	S56	S56. 9	
	本 宮	積 載 車	ダイハツ		3	46	R5	R 5.3	軽自動車
		小型動力ポンプ		トーハツ	3	33	R5	R 5.3	
	比 内 前 田	小型動力ポンプ		ラビット	2	28	S56	S56. 9	
	杉 沢	"		ラビット	2	28	S59	S59. 7	
	大 子 内	"		ラビット	2	29	H4	H 4.11	

所 属	所在地	種 別	シャシー 種 別	ボ ン プ 種 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月日	備 考
第 6 分団	赤 石	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	4	130	H13	H13.10	
	櫃 崎	小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	27	S59	S59. 7	
	高 戸 屋	〃		ラビット	2	28	S56	S56. 9	
	板 沢	積 載 車	三 菱		4	94	H11	H11.10	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	28	H11	H11.10	
	出 川	〃		ラビット	2	33	H11	H11.10	
	大 披	〃		トーハツ	2	32	H8	H 8.10	
第 7 分団	小 袴	〃		トーハツ	2	27	H6	H 7. 1	
	十 二 所	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	6	130	H12	H12. 2	
		小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	33	H13	H13. 9	
	浦 山	〃		ラビット	2	33	H13	H13. 9	
	猿 間	〃		ラビット	2	29	H7	H 7.10	
	別 所	〃		ラビット	2	29	H8	H 8.10	
	沢 尻	〃		ラビット	2	38/58	H20	H20. 5	R6.5団本部より
	葛 原	積 載 車	ダイハツ		3	46	R3	R 3. 3	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	30	R3	R 3. 3	
	大 滝	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	4	140	H9	H 9.10	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	27	S61	S61.11	
	曲 田	〃		ラビット	2	29	H7	H 7.10	
	道 目 木	〃		トーハツ	2	28	H9	H 9.12	
	軽 井 沢	〃		トーハツ	2	28	H10	H10.11	
	五 輪 岱	〃		ラビット	2	29	H6	H 7. 1	
第 8 分団	花 岡	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	4	140	H13	H13.10	
	鳥 内	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	28	S61	S61.11	
	大 森	〃		ラビット	2	63	H26	H26.9	
	大 森 団 地	〃		ラビット	2	28	S60	S60. 8	
	姥 沢	〃		ラビット	2	33	H12	H12.10	
	神 山	〃		ラビット	2	38	H 5	R 2.4	13分団岩野目より
	桜 町	〃		トーハツ	2	28	H9	H 9.12	
	泉 田	〃		トーハツ	2	25	S53	S53. 8	
	前 田	〃		ラビット	2	38	H20	H20. 5	
	二 井 山	〃		ラビット	2	33	H12	R 4. 3	8分団土目内より
	土 目 内	積 載 車	ダイハツ		3	46	R4	R 4. 2	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	30	R4	R 4. 2	
	繫 沢	〃		トーハツ	2	27	H6	H 7. 1	

所 属	所在地	種 別	シャシー 種 別	ボ ン プ 種 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月日	備 考
第9分団	白 沢	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	4	140	H9	H 9.10	
	橋 桁	小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	28	S53	S53. 8	
	寺 ノ 沢	"		トーハツ	2	27	S58	S58. 8	R5.12団本部より
	粕 田	"		トーハツ	2	25	S56	S56. 9	
	中 羽 立	"		トーハツ	2	25	S56	S56. 9	
	清 水 川	"		トーハツ	2	27	H5	H 5.10	2分団より
	松 原	"		ラビット	2	33	H11	H11.10	1分団餌釣より
	長 走	"		トーハツ	2	28	H9	H 9.12	
	陣 場	積 載 車	スズキ		3	52	H30	H30.3	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		シバウラ	2	43.5	H30	H30.3	
		"		ラビット	2	26	S62	S62.11	
第10分団	扇 田	小型動力ポンプ付水 槽 付 車	三 菱		8	330	H15	H16. 2	水槽車
				ラビット	2	57	H15	H16.2	水槽車付小型
		消防ポンプ自動車	いすゞ	モ リ タ	4	130	H10	H11. 1	
	独 鈷	救助資器材積載車	いすゞ		4	150	H22	H22. 3	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	30	H22	H22. 3	本部より
	下 味 噌 内	"		ラビット	2	38/46	H14	H14. 6	
	中 味 噌 内	"		ラビット	2	58	H18	H18. 5	
	上 味 噌 内	"		ラビット	2	38/46	H10	H10.12	
	駒 橋	"		シバウラ	2	31/40	H 8	H 8. 9	
	沢	"		シバウラ	2	31/43	H11	H11. 9	
	日 詰	"		トーハツ	2	41/58	H17	H17. 5	
	向 田	小 型 動 力 ポ ン プ		シバウラ	2	31/43	H12	H12. 8	
第11分団	田 尻	"		ラビット	2	38/46	H10	R 4.2	R6.1 団本部より
	五 日 市	"		ラビット	2	58	H18	H18. 5	
	中 野	積 載 車	いすゞ		4	110	H29	H29. 1	
		小 型 動 力 ポ ン プ		シバウラ	2	43	H29	H29. 1	
	長 内 沢	"		ラビット	2	58	H18	H18. 5	
	森 合	"		シバウラ	2	31/43	H13	H13. 6	
	長 部	"		シバウラ	2	45/58	H15	H15. 5	
	大 渡	"		トーハツ	2	41/58	H17	R 2.4	11分団大葛より
	大 谷	"		シバウラ	2	31/43	H11	H11. 9	
	森 越	"		ラビット	2	41/58	H16	H16. 8	
	大 葛	積 載 車	スズキ		3	49	R2	R 2.3	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		シバウラ	2	43	R2	R 2.3	

所 属	所在地	種 別	シャシー 種 別	ボ ン プ 種 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月日	備 考
第12分団	水 無	消防ポンプ自動車	日 野	モ リ タ	4	150	R4	R 4.12	R4年更新
		小 型 動 力 ポ ン プ		シバウラ	2	31/43	H12	H12. 8	
	達 子	"		シバウラ	2	31/43	H13	H13. 6	
	笹 館	"		シバウラ	2	31/43	H12	H12. 8	
	羽立	積 載 車	ダイハツ		3	46	R6	R6.3	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	30	R6	R6.3	R6更新
	小 新 田	"		シバウラ	2	45/58	H15	H15. 5	
	大 巻	"		シバウラ	2	45/58	H15	H15. 5	
	弥 助	"		ラビット	2	41/58	H16	H16. 8	
	片 貝	"		シバウラ	2	31/43	H13	H13. 6	
	寺 崎	"		シバウラ	2	31/43	H11	H11. 9	
	畑 沢	"		ラビット	2	38/46	H14	H14. 6	
	水 沢	"		トーハツ	2	27/33	H 7	H 7. 6	
	小 坪 沢	"		シバウラ	2	31/40	H 9	H 9. 9	
	板 戸	"		シバウラ	2	31/40	H 9	H 9. 9	
	八 木 橋	積 載 車	ダイハツ		3	46	R4	R 4. 2	軽自動車
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	30	R4	R 4. 2	
	白 沢	"		トーハツ	2	40.8	H19	H19. 8	
	沼 田	"		ラビット	2	41/58	H16	H16. 8	
	前 田 野	"		トーハツ	2	40.8	H19	H19. 8	
第13分団	早 口	消防ポンプ自動車	三 菱	日 機	4	130	H 8	H 8. 3	
		小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	38	H 8	H 8. 9	
	本 郷	積 載 車	三 菱		4	94	H11	H11. 2	
		小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	42	H14	H14.10	
	岩 野 目	消防ポンプ自動車	いすゞ		4	150	R2	R 2.2	
	大 野	積 載 車	日 産		4	105	H16	H16. 9	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	2	58	H21	H21. 6	
第14分団	山 田	消防ポンプ自動車	日 野	日 機	4	150	R 4	R 4.1	
		小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	34	H15	H15. 9	
	岩 瀬	積 載 車	いすゞ		4	110	H30	H30.12	
		小 型 動 力 ポ ン プ		トーハツ	3	22kw	H30	H30.12	
	赤 川	積 載 車	三 菱		4	94	H14	H14. 3	
		小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	38	H11	H11.12	
	越 山	積 載 車	三 菱		4	94	H14	H14.12	
		小 型 動 力 ポ ン プ		ラビット	2	57	H 9	H 9. 7	

所 属	所在地	種 別	シャシー 種 別	ポ ン プ 種 別	気筒数	出力 (PS)	年式	配置年月日	備 考
第15分団	大 館 市	軽 可 搬 ポ ン プ		ラビット	2	15	H9	H 9. 9	
	第 一 婦 人	"		トーハツ	1	5	H4	H 4.11	
	二 井 田	"		トーハツ	1	5	H4	H 4.11	
	真 中	"		シバウラ	1	5	H5	H 6. 4	
	釈 迦 内	"		トーハツ	1	5	H4	H 4.11	
	第 二 婦 人	"		トーハツ	1	5	H4	H 4.11	
	花 矢	"		トーハツ	1	5	H5	H 6. 4	
予 備	本 署	軽 可 搬 ポ ン プ		トーハツ	1	4	H29	H29.10	
	北 分 署	"		ラビット	1	3	H6	H 6. 8	5 台
		"		トーハツ	1	5	H7	H 7. 8	4 台
		"		ラビット	1	4	H9	H 9. 8	2 台

名 称	消防車両台数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	16 台
小型動力ポンプ付水槽車	1 台
小型動力ポンプ積載車	9 台
小型動力ポンプ積載車（軽自動車）	12 台
救 助 資 器 材 積 載 車	1 台
団 連 絡 車	1 台
防 災 活 動 車	2 台
小 型 動 力 ポ ン プ	127 台
軽 可 搬 ポ ン プ	19 台
合 計	188 台

令和6年版

消 防 年 報

(令和7年10月刊行)

編集 ・ 発行

大 館 市 消 防 本 部

秋田県大館市根下戸新町1番1号

TEL 0186-43-4151

FAX 0186-43-4150